

令和5（2023）年度開講

『演習Ⅰ』（ゼミ）

募集要項

対象：経済学部2年生



※演習Ⅰに関するお知らせは大学HP上でも確認して下さい。

INDEX

①	2次選考受付ゼミ一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	2
②	選考方法・・・・・・・・・・・・・・・・	3
③	選考スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・	5
④	ゼミナールに入ろう・・・・・・・・・・・・・・・・	6
⑤	演習別コース選択一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	12
⑥	選考方法一覧（教員氏名 50 音順）・・・・・・・・	13
⑦	公開ゼミ一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	18
⑧	教員の連絡先一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	20
⑨	募集ゼミ内容紹介（教員氏名 50 音順）・・・・・・・・	21

① 2次選考受付ゼミ一覧

教員名	2次選考募集人数目安
大西祥恵	10名程度
小木曾道夫	若干名
尾崎麻弥子	若干名
小野正人	若干名
金子良太	10名程度
東海林孝一	10名程度
高木康順	10名程度
高橋克秀	10名程度
田原裕子	5名程度
中馬祥子	5名程度
手塚貞治	若干名
中泉真樹	5名程度
中田有祐	5名程度
根岸毅宏	10名程度
野村一夫	10名程度
藤山圭	10名程度
細井長	10名程度
細谷圭	10名程度
山本健太	5名程度

② 選考方法

2 次選考について

- ・すでに提出した第 2 ～ 4 希望のうち、いずれか 1 つの演習での選考（大学が指定）となります。
- ・ 2 次選考を行う演習を告知します。
- ・ 第 2 ～ 4 希望の演習が「募集終了（受入れ不可）」の場合を想定し、修正期間を設けています（修正は全員が可能）。
- ・ 応募者の偏りを小さくするよう、第 2 ～ 4 希望で調整（マッチング）します（GPA と修得単位数を参考にします）。
- ・ 第 2 ～ 4 希望のうち、いずれか 1 つの演習を経済学部で指定し、お知らせします。その後、指定された演習の「志望理由」と「教員任意課題」を作成し、教員に直接提出してください。
- ・ 各教員から選考日時や課題の提出に関して連絡があります。

3 次選考について

- ・ あらたに、第 1 希望から第 3 希望まで選択します。
- ・ 応募者の偏りを小さくするよう、第 1 ～ 3 希望のなかで調整（マッチング）します（GPA と修得単位数を参考にします）。

教員が指定する学科・コース

・各ゼミで受け入れる教員により、受け入れる学科やコースが指定されています。経済学科のみのコースを指定している演習には、経営学科の学生は応募できません。また、経営学科のコースのみを指定している演習には、経済学科の学生は応募できません。

注1) ゼミに合格した後に、教員が指定(○)するコースのうちどれか1つを選択することになります。

注2) K-ENT 研究発表型入試にともなって入学時にコースが設定されている学生は1次選考では原則として設定コースを受け入れている教員のゼミに応募するものとしますが、自分の研究内容との関係で志望するゼミが地域コース／クリエイターコース受け入れ不可の場合は、この限りではありません。

③選考スケジュール

★二次選考スケジュール★

■ 告知（二次選考を実施するゼミ） **6月2日（金）**

■ 公開ゼミ **6月5日（月）～6月10日（土）**

■ 修正期間 **6月5日（月）～6月12日（月）**

*全員が修正可能。第2～4希望の3つの希望を埋めなければならない（もし、埋まっていなければ、2次選考への応募は無効となる）。

■ 演習の指定（大学からの連絡） **6月16日（金）**

■ 選考期間 **6月23日（金）～6月29日（木）**

■ 合格発表 **7月3日（月）** K-SMAPYⅡにて発表（20:00発表予定）

★三次選考スケジュール★

■ 告知（三次選考を実施するゼミ） **7月3日（月）**

■ 応募期間 **7月3日（月）～7月7日（金）**（K-SMAPYⅡのアンケート機能より応募）

■ 演習の指定（大学からの連絡） **7月11日（火）**

■ 選考期間 **7月18日（火）～7月22日（土）**

■ 合格発表 **7月25日（火）** K-SMAPYⅡにて発表（20:00発表予定）

④ ゼミナールに入ろう

経済学部 教務部委員

大西 祥恵

この募集要項では各ゼミの活動内容や特徴を紹介します。きっと皆さんが学びたい分野のゼミが見つかると思います。みなさんがこの要項を熟読のうえ、自分に最もマッチしたゼミについてよく研究し、ひとりでも多くの学生が応募・合格してくれることを期待しています。

(1) ゼミとは？

ゼミナール（ゼミ）は大学で専門的に学んでいく上で、また自分にあった学修を行う上で、講義とは異なる少人数かつ双方向の教育が受けられる演習形式の授業であり、重要かつ貴重な学びの機会です。また、学生同士だけでなく学生と教員がコミュニケーションを取りながら一緒に作り上げる最も大学らしい場所です。私たちはひとりでも多くの学生に自分に相応しいゼミに入り、ゼミの仲間や教員と大いに議論・討論してほしいと切に願います。自分の意見や考えを发表或し、多様な意見や価値観を聴いたり討論することはみなさんの学びをより深いものとし、就職活動（面接だけでなく集団討論のときも）やその後の職業生活にも大いに役立つことでしょう。みなさんが積極的かつ意欲的にゼミに応募することを期待しています。

後述するように、ゼミの開講パターン、学生数や活動内容は様々ですが、一般的にゼミの特徴は次のように説明できます。

- ① 講義形式ではなく、**学生と教員が話し合いながら一緒に内容をつくりあげる少人数の演習系科目（専門応用科目）**です。ゼミによって一学年の人数が**10～20**人とまちまちですし、他学年と合同で実施するゼミと学年ごと実施するゼミがあります。
- ② ゼミの内容は各ゼミによって異なりますが、主な内容としては、(1)テキストを決めレジュメを作成して分担報告しながら精読する輪読、(2)学外のビジネスコンテストなど各種コンテストへの参加・発表、(3)テーマを決め、個人あるいはグループで研究する論文作成、(4)グループディスカッションやプレゼンテーション、(5)ディベート大会、(6)サマーセッションやスプリングセッションの合宿、(7)ゼミ成果発表会や合同ゼミなど学部ゼミ間の交流、(8)新歓・暑気払い・忘年会などのコンパ、(9)工場見学や企業見学、(10)OB・OG会などがあります。ゼミによって多彩ですので興味のあるゼミの活動をよく調べてください。
- ③ 講義科目とは異なって、ゼミでは学生同士および学生と教員の間での双方向のコミュニケーションが広く深く行われます。
- ④ ゼミに入るためには、ゼミ毎に行われる選考で合格しなければなりません。合格すれば「演習Ⅰ」からゼミに所属することになります（3年次4月募集のゼミを除く）。ただし、**一度希望するゼミに合格したら、合格を辞退したり、別のゼミに応募し直したり、ゼミを変更することはできません。**（例えば、ゼミ応募に合格して2年生後期からゼミ（演習Ⅰ）を履修した場合、3年4月募集で応募しているゼミに入り直したいと思っても、「演習Ⅰ」の単位が取得された限り、他の演習に応募したり入り直したりすることはできません。）

(2) 開講形態

ゼミは2年後期からはじまります。原則、すべてのゼミについて、卒業までに以下に挙げる5つの科目が開講されます。

- ①「演習Ⅰ」(2年次後期)
- ②「演習ⅡA」(3年次前期)
- ③「演習ⅡB」(3年次後期)
- ④「演習Ⅲ(卒業論文)A」(4年次前期)
- ⑤「演習Ⅲ(卒業論文)B」(4年次後期)

卒業要件に含まれる単位数は、すべてのゼミで「10単位」となります(これ以上の単位は卒業要件の単位には含まれません)。

また、すべてのゼミで「卒業論文が必修」です。

ゼミによって、上記の科目とセットで開講されるサマーセミナー、スプリングセミナーがあります。サマーセッション、スプリングセッションの開催有無については、それぞれのゼミの紹介ページの冒頭部分に明記されています。

なお、上記科目は自動登録されます。学生の都合で登録を取り消すことはできず、合宿に参加しなかったりゼミ論文を提出しなかったりした場合はDまたはRの評価となります。

通常	演習Ⅰ	演習ⅡA	演習ⅡB	演習Ⅲ (卒業論文) A	演習Ⅲ (卒業論文) B
開講時期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
単位	2	2	2	2	2

(3) ゼミの選び方

ゼミによって活動内容や開講形態は様々ですから、ゼミの課題や学習内容、ゼミ(先生)とのかかわり方、つきあい方も変わってきます。各ゼミの内容や特徴をよく理解し、自分にあったゼミを選ぶことが大切です。その際、次の点を考慮しましょう。

- ① 自分の勉強したい「テーマ/分野（興味・関心）」に合致しているか考えましょう。ゼミのテーマ、教員の専攻/研究分野が自分にあっているかどうかは最も大切なことです。
- ② ゼミの活動内容をできる限り詳しく知って選びましょう。公開ゼミやゼミ個別ブース相談会（主催：学生委員会）を積極的に活用しましょう。
- ③ 前述したように、サマーセッション、スプリングセッションを行うゼミや行わないゼミがありますので、この点も考慮してください。
- ④ 担当教員とのコミュニケーションは、大学で学ぶ上でも学生生活や将来を考える上でも、みなさんにとって貴重な機会となるでしょう。2年半の間、一緒に勉強する教員についてもできる限り情報を集め、ゼミ選考の参考にしましょう。教員については、國學院大學 HP の経済学部サイトに「専任教員の紹介」でも知ることができます。

(4) 応募にあたっての注意

- ① みなさんがゼミに応募できるのは2年次の5月～7月の募集期間です（3年次4月開講のゼミを除く）。この間に1次、2次、3次と計3回の選考が実施されます。ただし、**2次選考から、募集するゼミが限定されるので注意してください**。1次選考から積極的に応募するようにしましょう。
- ② **各ゼミで受け入れる学科・コースが指定**されています。多くのゼミが経済学科、経営学科どちらの学生も受け入れが可能となっていますが、経済学科の学生のみ、経営学科の学生のみという演習も少数ですが有りますので注意してください。
- ③ 各ゼミで「**修得済み科目**」、「**履修しておくことが望ましい科目**」が記載されています。「修得済み科目」は経済学部の必修科目・義務履修科目で、ほぼすべてのゼミが4科目（日本の経済、基礎演習 A、基礎演習 B、コンピュータと情報）の単位を取っていることが応募の条件になっています。「履修しておくことが望ましい科目」はこれまでに履修したことがある、または前期で履修していることが望ましい科目です。
- ④ 2年次3月から3年次4月初旬あたりにもゼミの募集・選考があり、「演習Ⅰ」を履修していない学生は応募できますが、ごくわずかなゼミしか募集しません（新しく着任する先生、派遣研究から戻る先生、追加募集を行う先生のゼミなど）。ですから、1次選考から積極的に応募するようにしましょう。
- ⑤ **ゼミの選抜に合格した後で、合格を辞退することはできません**。1つのゼミに合格すると、他のゼミの2次選考に応募できませんので、よく考えて応募しましょう。
- ⑥ 合格した時点で「演習Ⅰ」（サマーセミナー、スプリングセミナーを開講するゼミについてはそれらの科目も含む）が**自動的に履修登録**されます。また、**2年次の履修単位制限（42単位）にも含まれます**ので注意しましょう。

(5) その他

令和6年度4月から着任する（もしくは派遣研究から戻る）教員がいる場合、令和6年4月に開講されるもゼミの募集がある可能性があります。現時点でどのゼミが開講するかは未定です。「演習Ⅰ」で単位を取得した学生は応募することができません。募集がある場合には改めてホームページ上でお知らせします（令和6年3月上旬～中旬を予定）。

【一括登録の注意点】

ゼミは合格すると演習Ⅰ以降の全ての演習科目が開講パターンに応じて一括登録（サマーセミナー、スプリングセミナーも含む）されます。演習Ⅰの単位を修得し、演習Ⅱ以降の履修を取り消そうとしても演習Ⅰの合格時に全ての演習科目が登録済みです。履修修正でも取り消せません。年次履修上限の 42 単位に含まれてしまいます。そのため、演習Ⅱの時間帯に他の科目を履修することもできません。なお、成績評価で不合格（D または R）である場合、以降については、以降の科目の自動登録が消去されます。

(6) よくある質問Q&A

■2 年次の“留年”に関して

Q：2 年次に進級制限のため留年してしまいました。ゼミの扱いはどうなりますか。

A：①1 回目の 2 年次に「演習Ⅰ」の単位を修得しなかった（履修しなかった）場合、2 回目の 2 年次に、もう一度、「演習Ⅰ」の 1 次選考から応募できます。

②1 回目の 2 年次に「演習Ⅰ」の単位を修得した場合、3 年生に進級した年度に「演習Ⅰ」と同じゼミの「演習ⅡA・B」が登録されます。

■2 年次前期からの“留学”について

Q：2 年前期から（半年間または 1 年間）留学したいのですが、「演習Ⅰ」に応募できますか。

A：応募できません。（ただし、以下 A) B) C) の条件すべてを満たした場合は応募できます。）

A)「演習Ⅰ」が開講される後期には留学先から戻っており、出席できること。

B)期日（前年度の 1 月 31 日）までに所定の書類を経済学部教務委員会に申請し、経済学部教務委員会が「留学」を認めたものであること。

C)ゼミ応募条件の課題とは別に、面接に相当するレポートを経済学部教務委員会経由でゼミ指導教員に提出すること。

※該当される場合は、所定の手続きがありますので、経済学部教務委員会（keizaigakubu.kyoumu【at】gmail.com）（【at】は@に代えてください）まで、必ず申し出てください。

※なお、2 年次に 1 年間留学すると 3 年に進級できないため、翌年に「演習Ⅰ」の応募をすることになります。

■2 年次後期からの“留学”について

Q：2 年後期から休学して（半年間または 1 年間）留学したいのですが、2 年前期の選考で合格したあとで後期に留学し、3 年次の「演習ⅡA」からゼミに入れますか。

A：入ることはできません。

理由）休学しても 2 年前期に在学すれば 3 年に進級し、復学後は「演習Ⅰ」が履修できないためです。

（ただし、以下の例外に該当する場合は、今回応募してください。）

例外）2 年後期に半期の「セメスター留学」「認定留学」「協定留学」に行くことが決定している場合と、それ以外の留学のうち経済学部教務委員会が「留学」と認めた場合は、今回の選考を受けて合格すれば、例外的に 3 年次 4 月に開講する「演習ⅡA」から履修できます。その際は、所定の書類を選考結果が判明してから 3 日以内に申請する必要があります。

りますので、必ず事前に経済学部教務委員会 (keizaigakubu.kyoumu【at】gmail.com)

(【at】は@に代えてください) まで申し出てください。さらに、「演習ⅡA」授業開始時までには留学先から戻っていなければなりません。

※なお、今回の1次選考期間内に希望するゼミの先生に必ず相談をしておいてください。

※なお、上記以外のケースで休学の手続きをしないで留学した際は、学年を問わず「演習」を継続することはできず、4年次後期の「卒業レポート演習」を履修することになります

■3年次からの“留学”について

Q: 3年前期から1年間休学して留学する場合、「演習ⅡA・B」を履修できますか。

A: 復学した3年次前期から所属していたゼミの「演習ⅡA・B」が自動登録されます。

Q: 3年次の前期もしくは後期に休学して (半年間または1年間) 留学したいのですが、3年次の「演習ⅡA」「演習ⅡB」の扱いはどのようになりますか。また、4年次の演習を続ける (履修する) ことはできますか。

A: 3年次の後期に半年間、「セメスター留学」「認定留学」「協定留学」などの留学をする場合は、「履修保留」制度*を使い、演習を継続して履修することができます。

3年次後期の場合は6月30日まで、4年次前期の場合は1月31日までに所定の書類を経済学部教務委員会に申請し、経済学部教務委員会が「留学」と認めた場合と半年間の「セメスター留学」「認定留学」「協定留学」の場合は、履修保留制度を用いて、4年次に履修を再開することができます。なお、「演習Ⅲ (卒業論文) A」「演習Ⅲ (卒業論文) B」の授業開始時までには留学先から戻っていなければなりません。

※所定の書類をご提出いただく必要がありますので、必ず事前に経済学部教務委員会 (keizaigakubu.kyoumu【at】gmail.com) (【at】は@に代えてください) まで申し出てください。

*「履修保留」制度とは「演習ⅡB」もしくは「演習Ⅲ (卒業論文) A」の履修を保留できる制度です。保留した履修科目は、4年次後期に履修を再開することができます。つまり、3年次の後期にセメスター留学に行くために「演習ⅡB」を「履修保留」した場合、4年次の後期に「演習ⅡB」の履修を再開できます。また、4年次前期に留学した場合、「演習Ⅲ (卒業論文) A」と「演習Ⅲ (卒業論文) B」を4年次後期に平行して履修することになります。ただし、教務委員と指導教員の下承認が得られた場合に限りです。なお、「演習ⅡA・B」の単位を修得できなかった場合は「演習Ⅲ (卒業論文) A・B」の単位も修得できません。

Q: 4年前期から1年間休学して留学する場合、「演習Ⅲ (卒業論文) A・B」を履修できますか。

A: 復学した4年次から所属していたゼミの「演習Ⅲ (卒業論文) A・B」が自動登録されます。

※なお、上記以外で休学の手続きをしないで留学した際は、学年を問わず「演習」を継続することはできず、4年次後期の「卒業レポート演習」を履修することになります

■編入生、転部生、再入学生のゼミ応募について

Q：編入（転部、再入学）により3年生になりますが、ゼミに応募できますか。

A：3年時の受入れを認めているゼミに応募できます。

■その他

Q：2年次の演習Ⅰに合格して単位を修得しましたが、演習Ⅱから他のゼミに移籍したいのですが、移籍できますか。

A：移籍できません。

Q：一度落選したゼミに2次選考で応募することはできますか。

A：2次選考にて募集があれば、応募可能ですが、合格実績はほとんどありません。

Q：ゼミ応募の際、課題は提出したのですがK-SMAPYⅡでの登録を忘れました。応募は認められますか。

A：認められません。

以上について、不明な点や質問等があれば、経済学部教務委員会（keizaigakubu.kyoumu【at】gmail.com）まで連絡して下さい（【at】は@に代えてください）

⑤ 演習別「コース選択」一覧

	経済学科					経営学科			指定
	経済理論 とデータ 分析コー ス	経 済 史 コース	地域経済 コース	日本経済 コース	グローバ ル 経 済 コース	ビジネス リーダー コース	ビジネス クリエイ ターコー ス	ビジネス アナリス トコース	なし
大西祥恵			○	○		○			
小木曾道夫	○						○	○	
尾崎麻弥子		○			○			○	
小野正人						○	○	○	
金子良太			○			○		○	
櫻井潤			○	○		○			
東海林孝一				○		○		○	
杉山里枝									○
高木康順	○			○				○	
高橋克秀									○
田原裕子			○	○		○			
中馬祥子									○
辻和洋			○			○	○		
手塚貞治				○			○	○	
中泉真樹	○						○	○	
中田有祐	○					○		○	
根岸毅宏			○	○		○			
野村一夫									○
芳賀英明	○					○	○		
藤山圭	○						○	○	
星野広和		○				○		○	
細井長					○	○			
細谷圭	○			○				○	
水無田気流			○	○			○		
宮下雄治	○						○	○	
山本健太			○	○		○			

⑥選考方法一覧			
教員名	面接の有無	提出課題詳細	提出方法
大西 祥恵	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提出 課題内容：労働市場において不利な立場にある人たちについて、 テーマとしたい内容を報告してもらいます。そのテーマについて 研究したいと考えた理由、今回調べた論文・文献（ネット上の短 い記事やブログは不可）の概要をワードファイルに記載したもの を提出してください。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
小木曾 道夫	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※ogiso@kokugakuin.ac.jp 宛てメー ルの本文で提出 課題内容：小木曾担当の 3 年前期「演習 II A」を履修した場合 の研究テーマ案を全角 16 字以内で書く。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
尾崎 麻弥子	面接（あり） （Zoom で）※ ありの際は教 員より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提出 課題内容：最近関心を持った事柄に関する新書（岩波新書、 中公新書 etc）を 1 冊読み、その内容の要約と感想（1500 字程 度）を書いたレポートを提出。（ワード形式、書式自由）	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
小野 正人	面接 （なし）	※経営学科の学生のみ応募可能です。 長期出張中のため以下の提出書類によって選考します。 (1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）:以下の項目を指定された字数の通り記 述し、Word で A 4 縦 1 ページにまとめてメールで提出してくだ さい。提出先メールアドレス: masaono（アットマーク） kokugakuin.ac.jp ①メールアドレス、出身高校、本学入学に利用した入試制度、GPA と取得単位数（1 年次）、②國學院大學への入学動機、経営学科を 選んだ理由（200 字以上）、③大学入学後に関心を持って読んだ本 とその所感（200 字以上）、④関心のある会社とその理由、問題意 識（200 字以上）。	K-SMAPY II 「アンケ ー機能」により(1) と(2)を提出。 (3)は教員にメー ルで送信。

金子 良太	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提出 課題内容：（1）日商簿記検定の合格証書のコピーを面談時に提出してください（合格歴がない方は不要）（2）1 年次の GPA を証明できる書類のコピーを面談時に提出してください（3）「政策起業家」（駒崎弘樹著、ちくま新書、2022 年発行）を読み、その内容で特に印象に残った点を中心に 1200 字以上でまとめなさい。（1 年次 GPA3.3 以上かつ日商簿記検定 3 級以上の合格者の方は（3）の課題は不要です）	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）（2）のみ
東海林 孝一	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提出 課題内容：「管理会計」とは何か、具体的な内容に言及して 800 字程度にまとめて下さい。また「管理会計」を学ぶことが、自分の将来設計にどのように役立つのかについても言及してください。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）（2）のみ
高木 康順	面接（あり）※ Zoom 利用予定）※ありの際は 教員より個別 連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提示 課題内容：統計入門で提出した課題グラフを 1 つ選び、面接時に Excel を共有して、課題のデータ出所・手法・グラフから読み取れることについて説明する。統計入門未履修者は『日本の経済』第 5 章図 5. 3 を作製して使用する。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）（2）のみ
高橋 克秀	面接（あり・なし）※ありの際は 教員より個別 連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提出 課題内容：あなたが関心を持っている具体的なデータ（経済、社会、選挙、スポーツ、感染症、芸術、グルメ、ファッション、観光など分野はなんでも OK）について、なぜそのデータが面白いとおもうのか、分析すると何がわかりそうか（漠然とした予想でよい）、など自由に論じてください。書式自由、文字数制限なし、グラフィックも歓迎。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）（2）のみ
田原 裕子	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※（応募期間内に）教員のメールアドレスに提出 社会保障やまちづくりに関することで興味のあることを 400 字程度でまとめてください。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 （1）（2）のみ

		なお、ゼミの雰囲気を知っていただくため、公開ゼミ、またはゼミ説明会のいずれかに必ず参加（または視聴）してください。	
中馬祥子	面接（あり）※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり） 過去 3 年の「新聞の社説」の中から自分の興味あるテーマを取り上げ、その内容を簡潔にまとめた上で、社説に対する自分の意見を 1,200 字以内で述べよ。なお、社説の記事はウェブ上から探し、その URL を必ず記載すること。記載がない場合は、審査の対象外とする。また、選んだ社説のテーマそのものも、ゼミの内容との適合性について判断する材料となるので、注意深く選択すること。書式は自由であるが、氏名、学 科、学籍番号を明記の上、A4 一枚に収まるようにページ設定 をすること。 (4) 最新の成績表（GPA や総取得単位数が明示されているもの）。PDF または JPEG ファイルにすること。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ (3) (4) は、教員のメールアドレス宛に送ること。
手塚 貞治	面接（あり）※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※教員のメールアドレス宛に送付してください 課題：①経営戦略分野で学んだことを 400 字以内でまとめてください ②成績表を提出してください（画像でも OK）	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
中泉 真樹	面接（なし）※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり） 応募期間中（5 月 17 日～22 日）に、國學院大學の経済学部演習関連のホームページに「2023 年度演習 1 中泉ゼミ独自課題」をアップする予定です。それにしたがってリポートをご提出ください。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ (3) は「2023 年度演習 1 中泉ゼミ独自課題」の指示にしたがってご提出ください。
中田 有祐	面接（あり）※ありの際は教員より個別連絡	【2 次募集に際して修正あり】 (1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※以下の①～③を 1 つのファイルにまとめて提出してください。 ①1 次応募時のゼミ名 ②ゼミ個別ブース相談会・公開ゼミの参加の有無（相談会・公開ゼミともに、1 次募集時と 2 次募集時に両方実施するので、	【2 次募集に際して修正あり】 ・K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ ・6/20(火)までに (3)・(4) をメール提出（その他、面接日

		両方について記載) ③課題：企業の出来事や会計・財務・経営関連の事柄をテーマとしたニュース/新聞記事/雑誌記事を1つ取り上げ、考察を示してください。(800字以内。ゼミの分野を踏まえて記事を選定すること。記事の概要は不要だが、記事の出所・URL等を示すこと。) (4) 成績表：1年次のGPA・総取得単位数、各科目の成績、今期の履修科目が分かるもの(PDF・写真ファイルいずれでも可) (その他) 面接は6/23(金)の5～7限に実施予定なので、可能な限り日程を調整しておくこと。	時の調整等の案内 も行うので、必ずメールを適宜確認すること。)
根岸 毅宏	面接(あり)※ ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介(200字以内) (2) ゼミを希望する理由(400字以内) (3) 教員任意課題(あり) ①成績を提出してください。 ②あなたが気になる経済社会問題について、「気になる理由」を800字程度で記述してください。参考文献は必ず明記すること。 ③公開ゼミ、個別ブース説明会に参加し、その感想を、上記(2)ゼミを希望する理由に加えてください。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1)(2)のみ ・(3)は教員のメールアドレスに提出
野村 一夫	面接(あり)※ ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介(200字以内) (2) ゼミを希望する理由(400字以内) (3) 教員任意課題(あり)「メディアの文化圏」というテーマから、あなたは何を研究したいと思いますか。候補を3つほど挙げてWordで1ページ以上書いて応募時にR707FF@宛に送ってください。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1)(2)のみ
藤山 圭	面接(あり)※ ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介(200字以内) (2) ゼミを希望する理由(400字以内) (3) 教員任意課題(あり)※面接時に提出 課題内容：①経営に関連する社会現象を一つ取り上げ、1000字以内で自分なりの考察を示してください(なお、取り上げる現象はなんでも構いませんが、その現象をどのように見て、どのような問いを立て、どのようにアプローチをしようとするのか、ということを藤山は見ます)。②400字以内で自分の人となりが分かることを何でもいいので書いてください。趣味でも好きなことでも特技でもなんでもいいです。③ゼミに入ったとしたら、ゼミに何を求めますか。400字以内で書いてください。なお、無理に真面目に振舞ったり良く見せようとしたりする必要はありません。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1)(2)のみ 教員任意課題はword形式でまとめたものを面接日までにメールで提出

細井 長	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※事前にメールで提出 課題内容：ゼミ紹介の本文に詳細を書いています	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ (3)は指定日時までに メールで送付しても らいます。
細谷 圭	面接（あり）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時 課題内容：面接の際に、 ゼミテーマに関する書籍 を一冊持参し、内容を私に教えてください。難易不問、ボリューム不問、新書でも構いません。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
山本 健太	面接（なし）※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介（200 字以内） (2) ゼミを希望する理由（400 字以内） (3) 教員任意課題（あり）※面接時に提出 課題内容：実家のある地域の名物や有名な祭りなどを 1 つ取り上げ、それがなぜその地域で起こり、発展してきたのか、地域の気象条件や地形、歴史的過程など、関連する様々な観点を交えて理由を説明せよ。引用文献のあるものは、引用箇所がわかるようにし、引用文献リストを付すこと。参考文献リストを付す必要はない。提出されたレポートについて、論理展開、地理的思考力、レポート作成のルール等、総合的に判断をする。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ

【注意点】

※1 〆切を過ぎたものは一切受理しないので注意すること。

※2 教員により (3) の任意課題が異なるのでよく確認すること。

※3 必ず K-SMAPY II の「アンケート」で自己紹介、希望のゼミを登録、志望動機を記入して下さい。
課題のみを提出しても無効となります。

⑦ 公開ゼミ日時一覧

教員名	日時	方式	注意事項
大西 祥恵	6月6日(火) 4限(4年生演習Ⅲ) 5限(3年生演習Ⅱ)	対面(3309 教室)	入退室自由、予約 不要、質問歓迎で す。
小木曾 道夫	6月6日(火) 5時限(3年生演習ⅡA)	対面(3505 教室)	入退室自由、予約 不要です。
尾崎 麻弥子	公開ゼミは実施しません。		
小野 正人	公開ゼミは実施しません。		
金子 良太	6月9日金曜日 4時間目・5時間目	対面(3310 教室)	入退室自由。お気 軽にお越しくださ い。
東海林 孝一	6月9日(金) 4限および5限 「演習ⅡA」「演習ⅢA」	対面(3305 教室)	入退出自由、予約不 要、質問歓迎
高木 康順	6月8日(木) 5限 演習ⅡA 時間帯 Zoom で実施 ZoomURL は希望者に対してメールで送付	Zoom 配信	オンライン時のパ スコードと録画 URL はメールで申 請してください。
高橋 克秀	6月10日(土) 4限	コンピュータ教室3	入退室自由 予約 不要
田原 裕子	6月6日(火) 4限(演習Ⅲ卒業論文)、5限(演習ⅡA)	対面(3405 教室)	入退室自由 予約 は不要。公開ゼミ (対面)またはゼ ミ説明会のいずれ か、または両方に 参加してください。
中馬 祥子	6月6日(火) 5限	対面(3301 教室)	入退出自由、予約 不要ですが、いら したら、ドアのそ ばにある紙に、お 名前をお書き下さ い。質問も歓迎し ます。

手塚 貞治	6 月 9 日（金） 5 限（16:10～17:40）	対面（3303 教室）	入退室自由、予約 不要
中泉 真樹	6 月 8 日（木） 5 限（16 : 10～17 : 40）	対面（3304 教室）	入退室自由、予約 不要
中田 有祐	6/9(金) 14:50～15:50	対面(1201 教室)	入退室自由、予約 不要
根岸 毅宏	・ 6 月 5 日（月） 2 限（10:30-12:00）「演習ⅡA」	対面（3404 教室）	入退出自由、質問 歓迎です。
野村 一夫	実施しません。ゼミサイトに集約してあります。		ゼミサイトをご覧 下さい。 https://transmedia.tokyo.jp
藤山 圭	公開ゼミは実施しません。		
細井 長	公開ゼミは実施しません。		
細谷 圭	公開ゼミは実施しません。		
山本 健太	6 月 8 日（木） 4 限	対面（3305 教室）	入退室自由 予約不要

【注意点】

・日時や配信形式に変更があった場合は大学 HP に掲載します。公開ゼミに参加する前に必ず確認して下さい。

・オンライン（Zoom）の公開ゼミに参加する際は、教員によって事前にメールで連絡する必要があります。上記注意事項を確認してください。

・教員がメールを確認後、公開ゼミの URL、ID、PW の連絡をします。

⑧ 教員の連絡先一覧

教員名	メールアドレス	備考
大西 祥恵	yoshie-o__at__kokugakuin.ac.jp	
小木曽 道夫	ogiso__at__kokugakuin.ac.jp	
尾崎 麻弥子	mayaozaki__at__kokugakuin.ac.jp	
小野 正人	masaono__at__kokugakuin.ac.jp	
金子 良太	rkaneko__at__kokugakuin.ac.jp	
東海林 孝一	shoji__at__kokugakuin.ac.jp	
高木 康順	takagi__at__kokugakuin.ac.jp	
高橋 克秀	taka8664__at__kokugakuin.ac.jp	
田原 裕子	ytahara__at__kokugakuin.ac.jp	
中馬 祥子	chuma__at__kokugakuin.ac.jp	
手塚貞治	tezuka.sadaharu__at__kokugakuin.ac.jp	
中泉 真樹	nmaki__at__kokugakuin.ac.jp	
中田 有祐	nakata_yusuke__at__kokugakuin.ac.j	
根岸 毅宏	negishi__at__kokugakuin.ac.jp	
野村 一夫	R707FF__at__kokugakuin.ac.jp	
藤山 圭	k.fujiyama__at__kokugakuin.ac.jp	
細井 長	hosonaga__at__kokugakuin.ac.jp	
細谷 圭	khosoya__at__kokugakuin.ac.jp	
山本 健太	kenta__at__kokugakuin.ac.jp	

※__at__は「@」に置き換えてください。

※教員にメールを送る際は、大学の@kokugakuin.ac.jpのメールアドレスから送るか、またはメールの件名を明確に記載してください。

⑨ 募集ゼミ内容紹介

先生方にゼミのご紹介をしていただくにあたって、以下の質問項目について伺いました。

(※該当する項目のみ、回答していただいております。)

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	

- (1) テーマ
- (2) キーワード
- (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)
- (4) 演習Ⅳ以外で論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)
- (5) 先輩たちの主な就職先と傾向
- (6) 教員について(自己紹介等)
- (7) その他

大西 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A		
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B		

3 年（男）	12 人	3 年（女）	3 人	4 年（男）	13 人	4 年（女）	2 人
--------	------	--------	-----	--------	------	--------	-----

(1) テーマ

「労働」について、どのようなイメージをもっていますか？ 「労働は商品ではない」は、1944 年 5 月に ILO（International Labour Organization, 国際労働機関）で採択されたフィラデルフィア宣言のなかの一文です。労働は経済学のなかで取り上げられる要素の 1 つですが、生きている人間を扱う点で他と異なっており、そのためにさまざまなルールが必要です。

人は労働を通して社会とつながることも多く、労働はその人の生活にも関係してきます。例えば、仕事が不安定であれば生活にも影響がでますし、仕事を失えば失業問題に直面します。

ゼミではこうしたことについて、もっとも厳しい状況に迫いやられがちな社会的に不利な立場の人たちの視点から捉え、研究していきます。そのためこのゼミで充実した学びを得ようとするのであれば、社会の問題に高い関心をもっていただくことになります。

(2) キーワード

「労働」、「失業」、「社会政策」、「貧困」、「社会的排除」、「マイノリティ」

とりわけ、ふだん見過ごされてしまいがちなさまざまな実態や課題に着目することを通して、社会の現実に迫りたいと思います。

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ゼミへの応募をされる場合、原則として以下に書かれているゼミでの学修に参加することに合意したものとみなします。合意されない場合、ゼミへの応募はできません。ゼミで勉強のために実施される取り組みには、原則参加できることも応募の条件とします。

勉強以外にも大切なことはたくさんありますが、とはいえ勉強も大切ですので、ゼミでの学修を希望されるなら、勉強に多くの時間をさいていただく必要があります。

「講義型科目の履修」

教員が担当している講義型の科目で議論されることは、ゼミでの学びと深い関係があります。そのため、できるかぎり「労働経済」、「社会政策論」を履修していただければと思います。

「演習Ⅰ」（2年生後期）

文献などの課題をゼミ生で分担して報告してもらい、それを受けてのディスカッションを行います。ゼミでの勉強が1人で行う勉強と違うのは、ゼミ生同士での話し合いを通して初めて気づかされることがあったり、1人ではいきつかなかった結論にたどりついたりすることではないでしょうか。ゼミでの勉強を通して自身のテーマを決め、それについて調べたことをレポートにして提出してもらいます。また、社会の現実について学ぶために、フィールド・ワークを行うこともあります。

「夏合宿」（3年生の夏休み、サマセではありません）

それまでの研究をもとにお互いに報告し、それを受けてのディスカッションを行います。また、フィールド・ワークを行います。

「演習ⅡA・B」（3年生）

前半は、自身のテーマについてさらに調べたことを、ゼミで報告してもらいます。そしてどういう問いを立てて研究を深めていけばいいのかについて、ディスカッションを行います。

後半は、前半に立てた問いに対してご自身の見解を報告してもらい、ディスカッションで議論を深めたうえで、どのような結論を導くのかを検討します。それをレポートにして、提出してもらいます。また、社会の現実について学ぶために、フィールド・ワークを行うこともあります。

「演習ⅢA・B」（4年生）

自身の研究について論理的に結論を導き出していくよう、さらに検討を加えていきます。そしてそれを卒業論文にまとめていきます。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

提出締切：1月下旬、2年後期「演習Ⅰ」2000字以上、3年「演習Ⅱ」4000字以上

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

先輩たちの就職先としてIT関係、流通、運輸、建設、不動産、販売、保険、メーカー、公的法人、公務員などがあります。とくに傾向があるわけではありませんが、それぞれに自身の将来のことを真剣に考えて進路を決定していきました。就職にかんしては、実際に働いてみないとわからないことがあることを理解したうえで、大学を卒業する時点で自身はどうしていいのかを考える必要があります。そのためにまずは自身についてできるだけ客観的にとらえることと、社会にはどのような活躍の場があるのかをしっかりと学ぶのが大事なように思います。

(6) 教員について(自己紹介等)

大学2年生のとき、社会の現実にかかわる仕事をしたいと思って研究職を志しました。ゼミのメンバーのみなさんと、このメンバーならではの仲間づくりや勉強がしていければと思います。



小木曽 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
－	－	－	－	－

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	－	－
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	－	－

3年（男）	13人	3年（女）	2人	4年（男）	12人	4年（女）	3人
-------	-----	-------	----	-------	-----	-------	----

(1) テーマ

組織と集合行動の自己生産

(2) キーワード

組織、集合行動、自己生産

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年後期の「演習Ⅰ」では、バーナード著 山本安次郎・田杉競・飯野春樹訳(1968)『新訳 経営者の役割』ダイヤモンド社、の、のちの組織研究に影響を与えた部分を選んでの精読する文献購読演習を行う。つまり、「演習Ⅰ」と言っても現行のカリキュラムには無い「基礎演習 C」のような内容である。「演習Ⅰ」の到達目標は文献購読報告ができ、文献購読レポートが書けるようになること。

単位修得の要件には、報告およびレポートで他者が著作権を持つ文字列を引用できること、報告およびレポートの巻末の参考文献リストで、1.著作権者・2.刊行年・3.書名・4.出版社を正確に記述できることを含む。

3年の「演習ⅡA・B」と4年の「演習ⅢA・B」では各自研究テーマを決めて、研究課題は、(外部の組織から受動的に与えられるのではなく、)ゲーム以外のテーマから受講者が自ら能動的に決定して、

研究演習を行う。「演習ⅡA・B」の到達目標は研究報告ができ研究論文が書けるようになることで、

「演習ⅢA・B」の到達目標は、社会科学の研究論文が書けるようになること。単位修得の要件には、報告およびレポートの巻末の参考文献リストで、1.著作権者・2.刊行 or 更新年(月日)・3.書名 or タイトル・4.出版社 or URL を正確に記述できること、および、報告およびレポートで、5.自分の意見や考え・または・著作権者を特定できない情報と、他者が著作権を持つ情報とを区別し、6.他者が著作権を持つ情報の出典を引用または参照という方法で巻末の参考文献リストと照合して明記すること、を含む。

3年の「演習ⅡA・B」は、まず、報告者が各自が決めた研究テーマに基づく報告をして、質疑応答に引き続き、4人程度のグループで今後の報告者の研究の参考になりそうな点についてブレインストーミングを行う、という内容です。前期の「演習ⅡA」は各自の問題意識について報告する段階です。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

「演習Ⅰ」では学期末締切で字数自由の文献購読レポート

「演習ⅡA・B」と「演習ⅢA」では学期末締切の研究レポートを課し、字数のペース配分目標は「演習ⅡA」が4000字、「演習ⅡB」が8000字とする。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

業種の傾向はありません。過去、北関東地域の実家から通勤可能な勤務地限定の職掌への就職希望者は100%就職が決まっています。

(6) 教員について(自己紹介等)

教員について

小木曾はゲームとギャンブルについて無知であるため、ゲームまたはギャンブルを研究テーマとした
い学生に対して、十分な論文指導ができません。

(7) その他

小木曾ゼミは、研究成果であるゼミ卒業論文の質を分子、(ともに実施しないゼミ合宿とサブゼミを含む)拘束時間を分母とする、研究成果労働生産性が高いゼミです。過去の4年生のゼミ卒業論文・ゼミ
論などは[ゼミ HP](http://www2.kokugakuin.ac.jp/ogi1/index.html)を参照してください。

小木曾が担当する「演習ⅡA」を履修する学生は、3年次前期履修登録の際に、経済学科ならば「経済
理論とデータ分析」コース、経営学科ならば「ビジネスクリエイター」コース、または「ビジネスア
ナリスト」コースを選択しなければなりません。

各コース別の★コース指定の3科目6単位選択必修の学科専門科目は下記の通りです。

「経済理論とデータ分析」コース：ゲーム理論、行動経済学、産業組織論、データ分析の手法Ⅰ、デ
ータ分析の手法Ⅱ、マーケティングリサーチ

「ビジネスクリエイター」コース：マーケティング、日本の中小企業、ベンチャービジネス、事業承
継、イノベーションマネジメント、経営分析

「ビジネスアナリスト」コース：データ分析の手法Ⅰ、マーケティングリサーチ、原価計算、財務
諸表分析、経営分析、応用財務会計

尾崎 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済史入門
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3 年男	15 人	3 年女	1 人	4 年男	13 人	4 年女	1 人
------	------	------	-----	------	------	------	-----

(1) テーマ

西洋（ヨーロッパ、アメリカ）の広い意味での経済（経済活動にまつることすべて。生産・流通・消費）から歴史的な視点で我々の今の生活を見直す。

(2) キーワード

ヨーロッパ、アメリカ、歴史、世界、経済

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

はじめに各人が興味のあるテーマを事前に考えてもらいます（仮というか何となくの関心で構いません）。テーマ自体は歴史的なものでも現代のものでも構いませんが、現代のものを選んだ方もできるだけ歴史的な視点から見るようにということを考えてください。調べる熱意があれば特に詳しい知識は必要ありませんが、日本史・世界史のかなりおおまかな流れは頭に入っていたほうが良いです。2 年時にはそれに関するディベート、ディスカッションをおこない、並行して卒論に関する説明と注意点について話し合い、論文の書き方について勉強します。3 年時にはそのテーマについてさらに討論し、夏休み前から本格的に卒論執筆に入ってもらいます。3 年生でほぼ卒論完成という状態にしておいて、4 年生の就職活動に臨んでください（面接などで役に立ちます）。下の学年のゼミにも参加してもらうことがあるので、来年度以降のことですが、ゼミの曜日には後ろにアルバイトなどを入れないようにしてください。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

卒業論文の準備として 3 年生である程度の形を決めてもらいます。。4 年の前半は就職活動で頭がいっぱいになるので、むしろ 3 年生のうちに書き上げるくらいの勢いで準備します。本来経済史とは歴史的な一次史料を使用し研究をするものですが、日本でそれをやるのは大変難しいので、基本的には文献やインターネットから拾えるデータなどを利用することになります。テーマは基本的には欧米の歴史（20 世紀などの近い歴史でも OK です）に限られますが、強い熱意があればそれ以外でも可にしています（ただしその場合できる指導には限りがあります。）ただしレポートではないので、つねに「なぜ EU は現在うまくいかなかったのか」などの（少しテーマが大きすぎますが）疑問点を最初に提示して、それについて複数の文献を使って「分析」を行ってください。直接データを使用して分析できればなおいいです。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

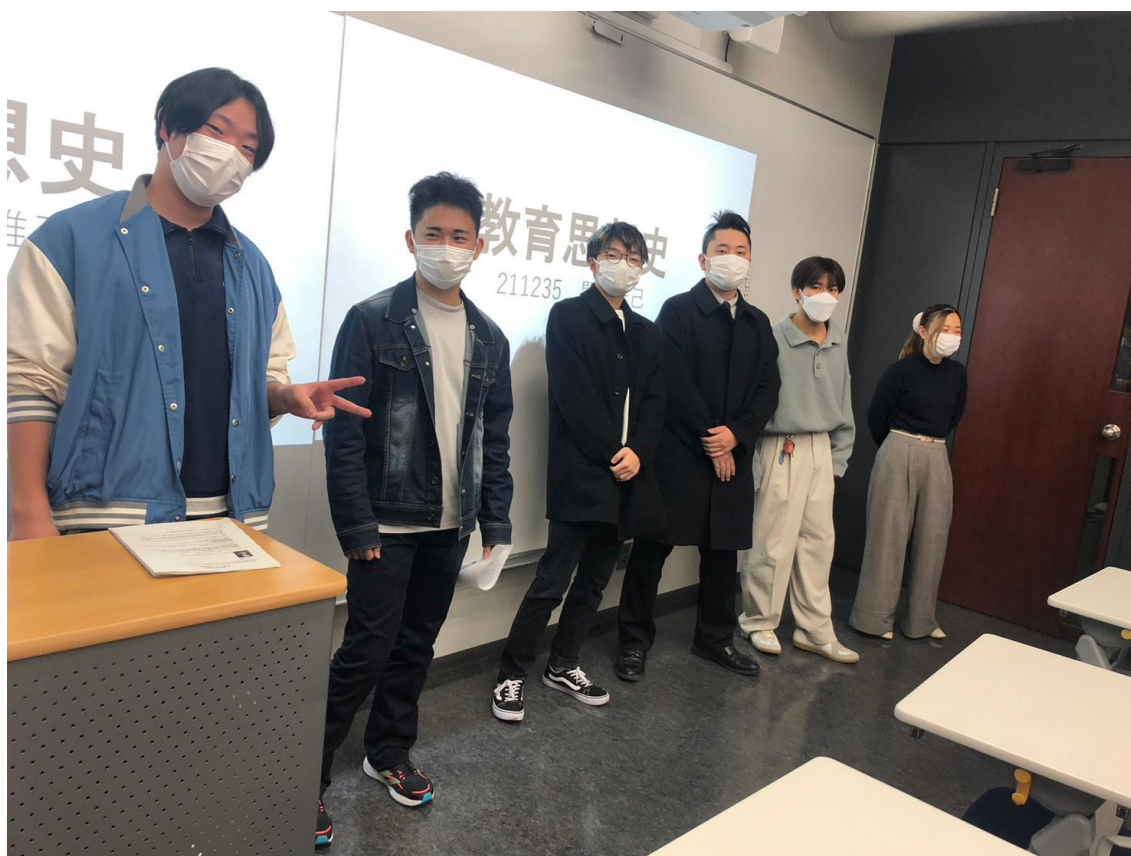
金融のゼミ→金融関係 のように直結する学問ではないので個人の力量と関心によってかなり差があります。金融・保険・不動産・地方公務員・交通・流通・食品関係・アパレルなどまさに経済活動にわたるものはなんでもというところがあります。卒論のテーマと関連したところに就職している人が多い印象があります。志望業界を限定はしませんが、貫性を持つことが大切だと思います。実際に教員になった人はまだいませんが、高校教員免許取得率がわりと高いです。教育実習の時期は、ゼミをお休みにしてありますので教員志望の方も大丈夫です。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門はスイス・フランス国境地域の経済史です。趣味は映画や舞台などを見ることです。ゼミの関心に応じて、ゼミの時間に欧米経済史に関連する映画を鑑賞して感想を話し合ったりなども時々しています。飲み会はゼミ生の希望にもよりますが、多い年は1か月に1回、少ないときは学期に2, 3回やっていました。事態によりますが本年度は Zoom やラインチャットでのヴァーチャルお茶会や飲み会も計画したいと思います。一見おっとりして見られがちですが、報告の内容などには結構突っ込みます。

(7) その他

ゼミは人数が少ないので、どのような態度で臨んでいるかは教員だけではなく他のゼミ生にもすぐにわかります。本当にほかにもやりたいことや事情があってなんとか両立したいのか、単に手を抜きたいのかすぐにわかります。出席回数や発言回数といった形式的なことだけではなく（もちろんそこに現れては来ますが）、自分の適性とどういう貢献ができるかを考えたうえで誠実に参加してくれることを望みます。



サマーセッション・スプリングセッションの実施予定：なし

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	会社入門	企業財務の基礎
コンピュータと情報 I	基礎演習 B	簿記と財務報告 A	※2 年後期に履修指定あり

3 年（男）	13 人	3 年（女）	6 人	4 年（男）	11 人	4 年（女）	9 人
--------	------	--------	-----	--------	------	--------	-----

（1） テーマ

『企業研究』

大企業、中小企業、ベンチャービジネス、外国企業、非営利組織を対象に、ケーススタディの手法を用いて企業研究に取り組む。企業の実情と課題に向き合う実践的なゼミです。

1. 目的：個々の企業を分担して研究し、発表・議論することによって、実社会において役立つ力を養っていく。担当教員の専門分野はベンチャービジネスとアントレプレナーシップであるが、ベンチャーや事業創造を視野に置きつつも、スタートアップから巨大企業まで幅広い組織を対象に考察していく。
2. 内容：①会社が公開する諸資料の収集方法、分析方法の学習、②発表・プレゼンテーションのトレーニング、③グループワーク、④実社会に向けた学習活動（キャリア設計、創造性・主体性、就職活動準備）、⑤外部講師を招聘した企業研究・討議、を行う。

（2） キーワード

企業を見る目、創造、イノベーション ⇒ 変化に対応でき、柔軟性を持ち、問題を解決できる人間になる

1. 「企業を見る目」：社会人になればさまざまな会社と付き合う機会が訪れる。会社をどのような物差しでどのように評価すればよいかを体得してほしい。
2. 「創造」：ゼミの目標は自分で未来を拓く力をつけること。知識を増やし、論理的に考え、他人に説明できるように努め、同時に自分がどうやって生きていかを考えてほしい。
3. 「イノベーション」：ゼミでは、世界で起きている革新的な変化を理解しうまく活用できるように修養することを考えていく。21 世紀は開発や進化を一つの会社や自分の周りだけで行うのではなく、世界の多様な人々と組んで取り組むオープン・イノベーションの時代であり、そのような環境に生き残って活躍できる人材を目指す。

（3） ゼミの進め方と求める人材

・2 年次は、「経営分析」の授業をもとにゼミ生が講義を行う反転授業形式で行う。また授業に関連したケース演習で経営分析の力を高めていく。3 年次は、各グループに課せられた企業研究(グループワーク)と有価証券報告書/アニュアルレポートの解説を行い、グループごとに企業研究の成果を発表しゼミ内で議論していく。4 年次は、各自が関心のある会社・業種・テーマを選択して個人別に企業研究を行い、その成果をもとに卒業論文を作成していく。

・企業評価の基本的な知識を修得するために、年 1～2 冊の専門文献を輪読していく。文献の例：伊藤邦雄『新・企業価値評価』、蛭原健『テクノロジー思考』、Clayton Christensen “How will you measure your line?”、大津広一「経営指標大全」、アナリストレポート(キャノン、サイバーエージェント、ペイロール)。

・様々な職業の選択肢と変化に柔軟に適應できる人材育成を目指しています。学外の専門家/実務家のゼミ招聘講演、他大学とのインターゼミを行う予定です。初対面・専門外の異なる世代の人々と交流する機会があるので、ゼミ生は主体的に質問や議論をすることが必須となっています。これらに取り組む熱意性のある人がゼミ入室の条件であり、幹事や役割を引き受けないような消極的な学生は応募をお断りします。

・ビジネスの知識・関心・探求・アナリシスの技能を高めていく実務重視のゼミですが、高度な命題を探究していく学術性・専門性を経験する機会は少ないことに留意してください。

・このゼミは「経営分析」を2年後期に履修することが条件です。また経営学科3コースを指定しているので、経済学科の学生は応募できません。ゼミ選考の倍率は例年1.3～1.8倍程度です。

(4) 卒業論文

・皆で力を合わせて脱落者を出さずことなく良い卒論を提出することを目標にしています。2年後期から分析手法と文献資料収集の知識を習得していき、卒業論文への意識を高めていきます。3年後期の段階から卒論のテーマを定めてプロジェクトファイルの蓄積をもとに前倒しに作業を行い、4年後期に卒業論文を完成させます。今年度4年生の卒論テーマは以下の通りですが、学生の関心や問題意識に応えられるように卒論の領域を広げています。

テイクアンドグヴ・ニーズ	ボニーキャニオン	クボタ
サントリーホールディングス	Netflix, Inc.	フジ・メディア・ホールディングス
大創産業 (DAISO)	神戸物産 (業務スーパー)	NECレノボ・ジャパングループ
ENEOSホールディングス	味の素	ソニーグループ
日本ハム	テレビ朝日ホールディングス	寿スピリッツとスイーツギフト業界
自動車業界におけるHONDA	ゲーム業界における任天堂	芙蓉総合リース
モスフードサービス	メガベンチャー企業 (DeNA)	

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

・全員が企業に就職していますが、ベンチャーに入る学生もいれば中央銀行に入る人もおり、IT・通信、教育、不動産、金融、建設など分野は多岐にわたっています。ただし、私自身大企業や国家公務員を経験してきましたが、それらの職場は構造問題をかかえており決して安泰とは思いません。雇用が大きく変わる時代に、既成概念にとらわれずに進むべき分野を自分で考え動くことが重要だと思います。またベンチャーや起業を真剣に考えている人は歓迎します。

(6) 教員について(自己紹介等)

・1958年高知県生まれ。四国の山中で育ち、中高は陸上競技部、大学はボート部で、元々は体育会系。

・東京大学経済学部卒業。國學院大學経済学研究科博士後期課程退学。日本製鉄/内閣府/日本生命保険/日本ベンチャーキャピタル/スタンフォード大学/慶應SFCを経て城西大学経営学部教授。2020年國學院大學に着任。大学卒業後、メーカー勤務にはじまり、中央官庁/金融機関/シンクタンク/海外留学/ベンチャーキャピタル/大学教員と、さまざまな職場を歩いた実務家教員です。

・担当講義：ベンチャービジネス、経営分析、ビジネスインターンシップなど(2023年度は国内派遣中)。

・良くも悪くも物わかりが良くさばさばした性格で、判断は早いがあきらめも早い。フルマラソン12回出走、富士登山競争3度出走。現在は山歩きと料理が趣味で、富士山12回、高尾山280回登頂。歳をとっても健全な精神と身体を維持すること、新しい取り組みにチャレンジすること、年齢より十歳若く見られることが目標です。

金子 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	財務会計（現在履修中であることが望ましいが、経済学科の方や必修授業重複の理由で受講できなかった場合は入ゼミ後に受講可）	
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B		

3 年男	3 人	3 年女	7 人	4 年男	6 人	4 年女	8 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

会計の視点から企業・自治体・NPO の経営を学ぶ

(2) キーワード

読書、財務会計、公会計、Fintech、B to B、B to C、経営分析、卒業論文

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ゼミは、新聞、本や雑誌をたくさん読みます。インターネット以外から多くの情報を得る技術を身につけます。会計は経済や経営と密接にかかわります。同級生・先輩や後輩と話し合うことで内容に対する理解を深め、自分の考えを持ち、的確に表現できるようになります。

2 年生はまず、企業の財務諸表や最近のニュースを事前に調査し、レポート作成や討論をします。10 月には、ビジネス会計検定 3 級以上を受験します。2 年後期・スプセは、様々な新聞・雑誌記事や有価証券報告書を参照してグループで企業を分析し、プレゼンを行います。11 月までには、日商簿記検定 3 級以上を受験します。他のゼミとの合同ゼミも予定しています。授業では、ゼミの学習につながる「公会計」の授業を受講します。

授業で知識をインプット→ゼミでは読書等を通じてさらに知識を深める→プレゼン等を通じて発信力を高める という流れです。ゼミと授業の両輪で成り立っています。

3 年生では、読書や財務諸表の分析、他ゼミとの合同の討論等を通じて理解を深めます。後期には、プレゼン大会等へ参加するための学習を行います。他大学の学生との交流等も含めて貴重な体験ができますし、就職活動にも役立ちます。このほか、「のびのび経済」にグループ論文を投稿します。授業は、前期には「応用財務会計」「企業監査」を、後期には「国際会計」を受講していただきます。

4 年生では、より専門的な書籍や論文を読み、各自で卒業論文をまとめていきます。また 2・3 年生への指導や合同ゼミ・ディベートも行います。

2 年半を通じて、「私はこれをしてきた」と自信をもって言えるような、貴重な体験ができるゼミにしていきたいです。皆さんの負担を軽くすることを心がけ、ゼミは学年ごと、週 1 コマです。ただしゼミへの参加には毎回事前準備が必要ですし、大会や論文の締切前にはゼミが延長されることもあ

ります。しかし、そのくらい学習して「勉強した、身についた」ということができます。また、ゼミでは皆さんが発表・話し合いするのが中心で、他の授業とは進め方や方針が異なります。

ゼミでは、ビジネス会計検定3級以上と日商簿記検定3級以上の合格が必須です。授業時間外に本や新聞・雑誌記事をたくさん読みますので、アルバイト等で十分な学習時間を確保できない方は、入ゼミをお勧めしません。

公認会計士試験や公務員試験を受験する方は、しっかり学習して進捗度を報告いただくことを条件として、ゼミの課題を軽減しています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3年後期の「のびのび経済」や、プレゼン大会でも15000字前後のグループ論文を書きます。本をよく読む方や文章を書くのが嫌いでない方は難なくこなしますが、そうでない方には、大いに努力が必要です。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

先輩たちの就職状況は、良好です。先輩や企業人事の方にも、ゼミの内容を評価していただいています。平成29年度の卒業生では東京都特別区へ3名就職し、これまでも県庁・市役所等の公務員を数多く輩出しています。税理士事務所に勤務する人もいます。最近、メーカーの営業や経理も増えています。ゼミでは、就職した先輩や会社の方を招いたりする機会も多く設けています。

(6) 教員について(自己紹介等)

ゼミ選択にあたって不安なことがたくさんあるかと思います。ブログ 良太の部屋 <http://blog.livedoor.jp/kanekosemi/> では適宜情報を更新していきますので、よく参照してください。個別の質問については rkaneko@kokugakuin.ac.jp までお気軽にどうぞ。また、若木タワー10階1004研究室にて対面での質問も受け付けております。

(7) その他

財務会計だけでなく政府や非営利組織の会計も学習します。公務員志望者も歓迎です。飲み会は最低限ですが、新歓・OBOG会・追いコンはあります（新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催されない可能性もあります）。いずれもとても貴重な経験であり、全員出席です。ゼミに向くのは ①読書が好きな人②成績が良い人（1年のGPA3.3以上）③数学・英語等の基礎学力がしっかりしている人（本を読んだり各種分析を行うため）④通常の授業が物足りなくて、大変でも充実した内容を求める人 ⑤自らの考えを発表する学習がむりなく楽しくできる人です。なお、経済学科の学生はゼミに応募はできますが2年次に財務会計の授業が受講できないこと、3年次のコース選択制限があります。教員あてに必ず事前にご相談ください。

ゼミの第1次選考（筆記課題+面接）の倍率はここ3年1.0～1.2倍程度です（昨年度は、第2次・3次選考はありました）。面接では、会計に関する基本的な知識を問うほか、皆さんの学習意欲や今後の学習計画を、提出された課題（共通課題+教員が個別に設定した課題）等に基づいて15分程度、教員と応募者との1対1の面談をします。皆さんの応募をお待ちしています。



東海林孝一 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
○	○	○	○	○

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	会計入門
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	簿記の基礎

3 年男	14 人	3 年女	3 人	4 年男	10 人	4 年女	1 人
------	------	------	-----	------	------	------	-----

(1) テーマ 会計の目で企業を見よう

東海林ゼミでは管理会計について研究します。まず、会計学は財務会計と管理会計に大きく2分類することができます。財務会計は企業の利害関係者（株主や債権者、従業員等）に企業の財政状態や経営成績等に関する情報をどのように開示するかを研究する領域です。

管理会計は企業経営をサポートするための会計であり、企業がもっと合理的に経営するために必要な会計理論や技法のことを言います。なお管理会計には予算管理と原価計算という2つの領域があり、ゼミでは主に予算管理を中心に管理会計全般を学びます。皆さんが就職する大企業や上場企業は、予算管理制度を採用していることが必須になっていますので社会人になって必要な知識の一つです。

新型コロナウイルスによって、世界の経済、日本の経済は大打撃を受け、ロシアによる大ウクライナ侵攻によって食糧や資源価格の高騰、さらに円安がそれに拍車を掛けています。当然、企業経営にも深刻な影響があり、すでに倒産する企業も出始めました。管理会計で学ぶ知識は企業経営にとって非常に重要な必須の知識です。例えば損益分岐点分析（黒字になるために必要な売上高の計算や、赤字にならないためには売上高の減少をどの程度までに抑えなければならないか）や資金予算（日々の資金繰りや設備投資資金に関する予算）等は就職してからすぐに役立つ知識です。また「値引きをして販売数量を伸ばすべきなのか、それとも販売数量が減っても値上げをして利益率を改善すべきなのか」といった企業戦略を策定するときに、管理会計は欠かすことができません。深夜はお客様の減ることが明らかなのにコンビニが24時間開店しているのも、マクドナルドでポテトやドリンクがセットされているメニューが割安なのも、管理会計の理論や技法を理解すると簡単に理解することができます。

(2) キーワード ①ゼミこそ大学 ②自分の可能性への挑戦 ③考えて行動する

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

①演習Ⅰ（2年次後期）

演習Ⅰの内容は会計学の基礎である財務会計について、各自テーマごとにレジメを作り発表してもらいます。名を私のゼミでは一定水準になってから発表が認められます。よって発表水準に達していないと判断された場合は、何度でも作り直しを命じられます。ここでの訓練が演習Ⅱで生かされます。

②演習Ⅱ（3年次通年）

活動基準原価計算、マテリアルフローコスト会計、シェアードサービスマネジメントなど管理会計の主要な理論や技法について、テーマごとにレジメを作り発表してもらいます。文献検索、データの収集能力が求められます。なお3年次終了までに日本商工会議所簿記検定2級を合格してもらいます。

③演習Ⅲ（4年次通年）

演習Ⅱで培った管理会計の理論や技法をもとに、各自が選んだ卒論のテーマに沿って、順次発表してもらいます。
→（4）参照

④演習Ⅰ（サマーセミナー）、演習Ⅰ（スプリングセミナー）、演習Ⅱ（サマーセミナー）、演習Ⅱ（スプリングセミナー）、演習Ⅲ（サマーセミナー）ではマネジメントゲームを用いたアクティブラーニングを行います。4人1組で売価原価の異なる3種類の商品を売買して、決算書を作成して業績を競い、株主総会で決算承認と取締役の選解任をします。4年生や3年生は販売戦略の立案や長期借入や増資などの資金計画の立案、経営を行い、2年生は入金伝票、出金伝票の処理、金銭出納帳、仕入帳、売上帳、商品有高帳の記帳処理を担当します。また予算編成、予算差異分析も行います。

ここまで順次説明したよう、演習Ⅰ～Ⅲは理論や事例の研究、演習Ⅰ（サマーセミナー）から演習Ⅲ（サマーセミナー）までの合宿での集中授業は、ビジネスゲームを用いたアクティブラーニングになりますので、それぞれが連携しています。従って全て出席することが原則になります。事前の許可を得ずに欠席するとゼミを辞めてもらいます。就職活動といえども例外ではありません。

（4） 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

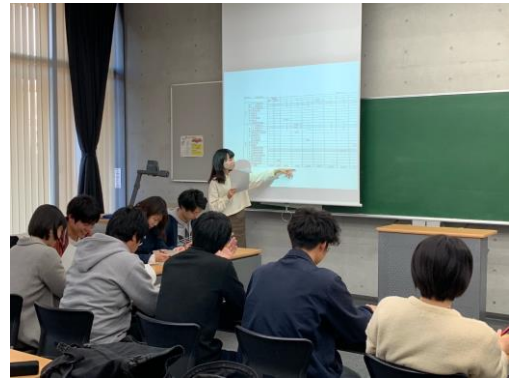
演習Ⅲの最終授業時に卒業論文を提出してもらいます。テーマは企業経営や会計理論・実務に関わるものであれば、自由に選択できます。20,000字以上の卒業論文の提出が4年次の単位認定条件です。

（5）先輩たちの主な就職先と傾向

メーカーの営業や経理の比率が過半数で、金融機関（三井住友銀行、みずほ銀行、群馬銀行、長野銀行、山陰合同銀行等）や公務員（国土交通省、前橋市役所、坂戸市役所、国税専門官、財務専門官、消防士）などがいます。具体的な企業名を挙げると、アサヒ、NTTドコモ、いすゞ自動車、伊藤園、キューピー、NEC、日本製鉄、東洋製罐、タカスタンダード、ブリヂトン、ローソン、理研ビタミン、三菱食品、東洋エレクトロン、沖電気などです。税理士は10人以上います。科目合格者も20人は超えています。公認会計士、米国公認会計士もおります。また税理士志望のための大学院在籍者は3人。変わり種では、歯科医師（開業医）、市議会議員もゼミの卒業生にはおります。

(6) 教員について(自己紹介等) 國學院大學経済学部卒業後、横浜市立大学商学部大学院修士課程を修了（経営学修士）し、青山学院大学経営学研究科博士後期課程を経て現在に至ります。横浜ベイスターズとお酒が大好きです。硬式野球部長でもあります。昔、学生につけられたあだ名は「明るいオタク」でした。

(7) その他
オフィスアワーや公開ゼミに来て何でも質問して下さい。



高木 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	経済理論入門	経済経営数学入門
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	統計入門	

3 年 (男)	2 人	3 年 (女)	1 人	4 年 (男)	7 人	4 年 (女)	4 人
---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----

(1) テーマ

日本とアメリカのデータを使ってマクロ経済学の基礎理論がどこまで有効か確認する

(2) キーワード

マクロ経済学 パソコン 統計分析

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2 年生

教科書：N・クレゴリー・マンキュー：『マンキュー入門経済学』、東洋経済新報社

ノートパソコンを全員に所有してもらいます。特に研究室では複数のゼミ員が同時にノートパソコンで作業することがあります。その作業結果をネットワーク上で共有し、修正作業を継続する必要があるため、合格後、ノートパソコンを新たに購入する場合選定相談を受けます。また、希望者にはノートパソコン利用法と基本ソフトウェア、ネットワーク環境設定を研究室で確認します。

夏休み中に数学準備として「経済経営数学入門」の講義ノート No. 1～10 を復習してもらいます。

後期開始後は、経済理論の入門教科書の内容を、報告者がスライドと口頭報告用の原稿を用意して報告します。スライドには、教科書で利用されている図表を、見た目をお絵かきで再現するのではなく、理論的な説明に沿って数式化し、表計算ソフトを用いたグラフや表で再現します。章末の問題は報告時間の余りの範囲で報告者以外に解いてもらいます。

演習 1 以外に、3 年次の理論分析の準備のために「ビジネスリサーチ」・「データ分析Ⅰ」を履修する必要がありますが、「統計入門」が前提科目であり、まだ履修していない人は「統計入門」を先ず履修する必要があります。「統計入門」・「ビジネスリサーチ」・「データ分析Ⅰ」は卒業までに必ず履修してください。

3 年生

教科書(予定)：R・J・ゴードン：『現代マクロエコノミクス』原著第 6 版上下：多賀出版

中級のマクロ経済学理論の教科書の内容を、ある章の分析と次の章の報告を平行しておこないます。

「分析」は報告された章に掲載されている、アメリカ経済の 1980 年代までのデータを使ったグラフ

を、最新の日米のデータを用いて再現したグラフと比較し、教科書の理論的な説明がどこまで当てはまるか確認するものです。

データを用いた検証はグラフの再現を超えてどこまでできるか、ゼミ生単独では範囲を設定できない場合が多く、前の週に報告された教科書の理論をどのような手法を組み合わせで分析するか細かく指導します。内容報告は2年次に習得した報告手順により実施します。

演習2以外では「統計入門」・「ビジネスリサーチ」・「データ分析Ⅰ」で取り残しているものの単位を取得してください。

4年生

毎週担当者を1名決めて3年生の分析内容を批判・評価します。批判・評価は単なる文言の修正でなく、「データ分析Ⅰ」の知識を用いて新旧グラフの比較を超えた分析の可能性を指摘します。残りの4年生は当日までに担当者に章末問題を絡めたポイントを提示し、問題意識を共有します。3年次のテキストが終わっていないければ続きを行う場合があります。

卒業論文は、3年時の演習で行った分析の中から各自でテーマを設定します。テキストの記述から、対象範囲を広げたり、理論をより精緻化したりして掘り下げ、「データ分析Ⅰ」の手法を用いて結論を導くことを重視します。独自のアイデアや論考がなくとも、学んだ手法が駆使されていれば高く評価します。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

特にありません。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融・商社など一般的な事務系職種に就職していますが、IT系への就職も目立ちます。

(6) 教員について(自己紹介等)

日本経済全体の消費行動の理論構築と計量経済分析が研究テーマです。経済状況の変化に影響を受けて生じる、耐久消費財支出時期の理論的最適からの遅れをモデル化・検証しています。

性格は大まかで、論文に求められる緻密さは数学に依存しています。理論モデルを飽きずに延々とひねくり回したり、結果が中々出ないデータ分析をしつこく続けたりするのは大好きですが、ゼミ生の指導で細かいミスをはじくり返したり怒り続けたりする根気はありません。

(7) こんな学生に来てほしい

ミクロ・マクロ経済理論、モデル構築に必要な数学、データ分析の手法と学ばなければならない範囲は広いですが、理論の基礎から学び直すので、改めてゼミからスタートしたい人でも大丈夫です。が、ゼミの準備に時間をかけないと達成水準は低くなるので、学ぶ意欲はしっかりと持って来てください。

単位の有無にかかわらず経済経営数学入門水準の数学と、統計入門水準のExcel操作能力は必要です。

高橋克秀 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済統計の見方
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	経済理論入門

3 年男	10 人	3 年女	1 人	4 年男	5 人	4 年女	人
------	------	------	-----	------	-----	------	---

(1) テーマ

データ分析の基礎

(2) キーワード

ビッグデータ クラスタ 統計学 計量経済学 統計検定

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

毎回担当者を決めてパワーポイントで発表する。個人のパソコンは必須。統計学検定の取得を勧めている。2 級合格者は就活市場で引く手あまたとなる。毎年 2 名ほど合格している。合宿はやらない予定。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

毎年 12 月に行われる経済学部懸賞論文に必ず応募することを奨励している。統計学検定 3 級、2 級の勉強を奨励している（ゼミでも練習問題を解く）

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

最近企業情報調査、IT、金融機関が多い。有名なところではソニー、みずほ銀行、帝国データバンクなど。

(6) 教員について(自己紹介等)

新聞記者→エコノミスト→教員 世界遺産歩きが趣味

(7) こんな学生に来てほしい

正当な理由なく欠席する学生は困ります。90%以上出席できるかどうかよく考えてから応募してください。このゼミでは統計学の基礎を学んだうえで、現実の経済・経営問題、社会問題（最近ではスポーツや健康・医療の統計分析も）を数値的に解析します。テーマは自由です。芸術に関するテーマも歓迎しますが、アニメとゲームは範囲外です。春休み、夏休みは軽い課題が出ます。卒論（ゼミ論）は必須です。 といえ、2 年生の間は易しいところから始めるので心配ありません。数学は得意である必要はありませんが、経済経営数学入門レベルは前提とします。

田原 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		○

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	社会保障論
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	地域政策

3 年男	5 人	3 年女	4 人	4 年男	8 人	4 年女	7 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

人口減少社会における地域政策と社会保障

少子高齢・人口減少社会における持続可能な社会保障と地域のあり方について、大学での座学と渋谷における地域連携活動を通じて具体的に学び、考える。グループワークや学内外でのプレゼンテーション等を通じて、協働する力や自分の考えを的確に伝える力を身につけることで、社会人基礎力を養う。

(2) キーワード

地域政策・地域づくり、社会保障、地域連携活動の実践

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

- 2 年後期は教科書・新聞記事報告や、グループでの調査研究（昨年度は PFI や PPP を活用した都市公園の整備について）を通じて、テキストの読み方・まとめ方、データの集め方・整理のしかた、伝わりやすいプレゼンの基礎をしっかりと学びます。
- 3 年前期も教科書・新聞記事報告とグループ調査研究（都心再開発を予定）。3 年後期からは卒論執筆に向けた文献調査、統計調査を始めます。
- 4 年次は卒論の執筆を進めます。
- 毎週のゼミ以外に、卒論発表会・OBOG会、渋谷での地域貢献活動（渋谷さくら祭でのイベントの企画・運営など）、公式飲み会（年に 3 回程度）などがあります。
- 部活のように勉強するゼミです。時期や人によって差がありますが、平均すると生活の 3 割～4 割くらいをゼミに費やしているそうです。とはいえ、勉強のしかたや時間の使い方を工夫することで、就職活動はもちろん、サークルやバイトとの両立ができており、そうした能力が就活や仕事にも活かしているようです。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

- 2 年後期の学期末：グループワークのまとめ（Power Point のスライドで 20 枚程度の資料と、Word で A4・2 枚程度。グループごとに作成）

- 地域連携活動の内容によって、3年次にグループでレポートを作成する場合があります。

※ グループワークの内容は年によって変わります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融・保険、インフラ（鉄道、通信）、デベロッパー・ゼネコン、メーカー（食品、製薬、自動車、化粧品、機械など）、広告、出版、テーマパーク、運輸、公務員など。

年に1度の卒論等発表会・OBOG会のほか、普段のゼミに顔を出してくれるOBOGも多く、学年の離れたOBOGに就活や卒論の相談ができることも強みです。

(6) 教員について(自己紹介等)

都市地理学の視点から渋谷再開発がクリエイティブワーカーの働き方や地域経済・社会に与える影響、高齢人口移動が地域に与える影響などを研究しています。お酒を飲むのが好きなので、「卒業したら飲み友達」です。

(7) その他

「渋谷さくら祭」で検索すると関連記事がたくさん出てきますので、ぜひチェックしてみてください。また、3年次のグループワーク（渋谷区との共同調査）は渋谷区の「まちづくりマスタープラン」（第1章）にも取り上げられています！

[渋谷区まちづくりマスタープラン \(city.shibuya.tokyo.jp\)](http://city.shibuya.tokyo.jp)



中馬 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	世界経済入門
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	社会経済学

3 年男	7 人	3 年女	5 人	4 年男	-人	4 年女	-人
------	-----	------	-----	------	----	------	----

(1) テーマ：グローバル経済の中で深刻化する経済・社会格差問題

このゼミは、グローバル経済の展開と密接に関わりつつ深刻化する経済格差や社会的差別の要因・現状分析、ならびにそれらを踏まえた「オルタナティブな経済を模索する動き」の研究を主題とします。ゼミ生の皆さんが直接対象とする地域は問いませんが（日本、他の先進諸国、開発途上国、いずれの地域を扱っても構いません）、分析の視野をその国や地域に限定することなく、背後にあるグローバル経済の動態について理解を深めていくことが必須となります。それにより、様々な地域について研究を進めているゼミ履修生間の分析視点に共通項が生まれるのです。

(2) キーワード：格差、貧困、差別、市場経済、社会的企業、社会的連帯経済

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

演習 IIIB での卒業論文完成に向けて、演習Ⅰでは文献の探し方、読み方、分析の仕方、分析成果の執筆や発表の仕方など、基本的なアカデミックスキルについて、集中的におさらいするところからスタートします。その際には、1 年時に履修した「基礎演習 A」の資料を用います。また、こうした作業と並行して、ゼミテーマに即した内容の基礎的な文献をゼミ生全員で読み進めます。その過程で、研究論文の「批判的な」読み方のコツをつかむと同時に、ひとつの文献の中から、芋づる式に他の文献を探していく手法を実地で学んでいきます。学期の最終授業日には、各自、共通講読文献についての「書評レポート（4000 字程度）」を提出してもらいます。

3 年生前期の演習 IIA では、2 年次までに培ったアカデミックスキルを基礎に、「個人テーマ」を最終決定します。そのテーマに沿って自ら適切な文献を検索し、入手出来るようにすると同時に、グループ・ワークを中心として、同じテーマについて異なる視点から書かれた複数の文献を比較検討しながら、自分の考えをまとめていく訓練をします。前期の最後には、個人テーマについて、自ら選んだ複数の文献について批判的に比較検討する「書評論文（6000 字以上）」を提出してもらいます。

後期の演習 IIB は、例年 12 月頃に実施される「ゼミ成果発表会」での報告準備と、その報告成果を基にしたゼミ論文（12000 字程度）の執筆が主な課題となります。「ゼミ成果発表会」に関しては、後期初回に比較的近いテーマの履修生たちでグループを組み、グループ・テーマを設定した上で報告スライドの準備を進めていきます。10 月と 11 月は、ほぼ毎回、報告準備の進捗状況に即した主題についてゼミで発表をし、その内容やプレゼンテーショ

ンのやり方についてゼミの仲間からコメントをもらいながら、改善していくことになります。「ゼミ成果発表会」終了後には、グループ・テーマを深掘りする過程で理解が深まった個人テーマに立ち返り、ゼミ論文を形式面・内容面双方から整えていきます。演習 IIB ゼミ論文の提出期限は最終授業日となります。

4 年生前期の演習 IIIA は、就職活動に関するスキルアップを視野に入れつつ、履修生各自が前年度に執筆した演習 IIB ゼミ論文の内容に基づき、プレゼンテーションやディスカッション、ディベートを行う力を高める訓練を繰り返して行きます。専門性の高い内容について、伝える側はいかにゼミの仲間が理解できるように、興味を喚起するように伝えることができるか、また聴く側は、いかに能動的・批判的にその内容を理解し、コメントや議論をすることができるか、を考えていきます。その上で後期には、再度、演習 II で執筆したゼミ論文に立ち返り、前期の学びの成果も生かしつつ、それを「卒業論文」としてよりよいものに仕上げていく作業を行うこととします。

なお、演習 I、演習 II、演習 III いずれも合宿の予定はありません。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

1. 演習 I 最終授業日・締切 4000 字程度の書評レポート
2. 演習 IIA 最終授業日・締切 6000 字以上の書評論文
3. 演習 IIB 最終授業日・締切 12000 字程度のゼミ論文（自由課題）

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

例年、金融・保険業が少数おり、メーカーやサービス業（BtoB も BtoC もあり）へ行く人が主、という感じです。近年の卒業生の主な就職・進学先は以下の通り。あいおいニッセイ同和損保、アニエスパー、一条工務店、静岡銀行、積水ハウス不動産東京、東京大学大学院経済学研究科（進学）、三井倉庫エクスプレス、リコー・ジャパン、WOWOW コミュニケーションズなど。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門分野は、開発途上国ならびに先進諸国の女性労働研究、世界システム論研究、社会的連帯経済研究など。中・高とクリスチানের学校に通っていたこともあり、子どもの頃から、ことあるごとに格差問題や差別問題について考えさせられていました。その影響もあってか、20 代の頃は、途上国開発の実務家になろうと思い、スリランカの山村で農村開発 NGO のボランティア活動に従事。超高速飛行のゴキブリが顔に激突してもめげない神経は、その時に養われたものです。…とは言え、こうした活動の過程で、現場の努力だけではどうしても出来ない、大きなグローバル経済の構造についてもしっかり学びたいと思うようになり、結局は学者の道を歩むこととなりました。

(7) その他

和気あいあいと、しかし論文の書き方やディスカッションの仕方などはしっかりと身に付くよう、ハード・ソフト両面を併せ持つゼミにしたいと思っています。自ら「力をつけたい」方の応募をお待ちしています！



手塚 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3 年男	7 人	3 年女	9 人	4 年男	7 人	4 年女	1 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

「成長戦略研究」

企業が成長するためにはどのような戦略をとって、どのようなビジネスモデルを構築すべきなのか、を考えていきます。教員の実務経験も踏まえて、実社会に出てからも役立つ戦略分析力を養うことを目的とします。

(2) キーワード

ビジネスモデル、ビジネスプラン（事業計画）、経営戦略

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

現段階では下記を予定しています。

演習Ⅰ（2 年後期）

- ・経営戦略論の入門書（と言ってもそれなりに本格的な書籍）を輪読し、まずは「経営戦略」についての基礎力を身につけます。

課題図書例 『経営戦略入門』網倉・新宅（日本経済新聞出版社）

演習Ⅱ（3 年生）

- ・前期は、実在企業について分析し、その企業の成長戦略を評価・分析していきます。教員より分析手法やフレームワーク等をレクチャーしますので、それを踏まえて、各チームに分かれてその企業の課題や戦略の方向性を発表し、全員で討議を行います。
- ・後期は、コンテスト応募を目標にチーム別にビジネスプランを作成してもらいます。

演習Ⅲ（4 年生）

- ・卒業論文を作成していきます。各個人が特定の業界・企業等のテーマを選定し、その業界・企業の課題を分析し、戦略の方向性について論文にまとめていきます。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

随時、ゼミ内での発表資料は提出してもらいます。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

2 年目のゼミのため、まだ OB はおりません。みなさんが実績を作ってください。

(6) 教員について(自己紹介等)

約 30 年間にわたり、コンサルタントとして実務を経験してきました。

研究と実務の二刀流を模索し続けており、その経験をゼミ生の方々にフィードバックできればと考えています。

本学における 2023 年度の担当科目は、「ビジネスソリューション」「日本の中小企業」「事業承継」「現代ビジネス」「基礎演習」等です。

(7) その他

ゼミとは、学生が主体となって学び合う場であり、教員はあくまでその支援をする存在です。そしてゼミとは、勉学だけでなく、社会人になるために必要なコミュニケーション能力等を養う人格形成の場でもあり、卒業後も続く絆を育む場でもあります。

したがって、ゼミ活動を最優先して真摯に取り組んでいただく必要があります。毎回出席したうえで、討議参加・課題作成することが条件となります。体調不良や忌引以外による欠席は原則として認めません。

積極的かつ真面目に取り組んでいただける方に対しては最大限のサポートをするつもりですので、そのような意欲のある方の応募をお待ちしています。

中泉 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		○

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済理論入門
「コンピュータと情報 I」など(共通教育プロ グラム)	基礎演習 B	

3 年男	8 人	3 年女	1 人	4 年男	9 人	4 年女	2 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

ビジネスあるいは経営戦略のためのミクロ経済学を学ぼう

それらをふまえ、経営戦略を経営学とミクロ経済学の双方から理解し、実践できるようになる

そのために必要となる数学を学ぼう(復習しよう)

教材を通して英語力(ただし読解力)を自主的に向上させよう

(2) キーワード

論理的かつ戦略的思考力と専門的基礎力に裏打ちされた自信

ともに学びともに成長

(3) ゼミの進め方

2 年次：演習Ⅰでは、経営戦略に関連するミクロ経済学の初歩を中心に学び、土台固めをする。必要な微分などの数学の初歩も学ぶ。基本的には下記の主教科書の最初のほうにある Economics Primer :Basic Principles などを主な題材とする。

3 年次：演習ⅡAでは、2 年次の学習を基礎に、主教科書等を題材に「経営戦略の経済学」をさらに深く学習・研究。演習ⅡBでは、経営学の一分野である経営戦略論の詳細を、これまで学んだ経済学的な知見で、批判的に相対化して徹底学習。

4 年次：演習ⅢA・Bは、個別研究とそれに基づく卒業論文の作成。個別研究とはいえ、ゼミ生全員でテーマを互いに共有、相互に批判・検討、切磋琢磨して、いい論文に仕上げる(そのチームワークを重視)。論文のテーマは、経済学、経営学、会計学にかかわっていれば、原則、なんでもよい。

3・4 年次合同のサマーセミナー：① 3 年生による「演習ⅡBの出発点的な内容」に関する学習報告をすでにその知識のある 4 年生がコメント。相互に理解を深める。② 4 年生による卒業研究の中間

報告。4年生のみならず、次の年には論文を書くことになる3年生も積極的に質問・発言。ディスカッションを盛り上げる。

2年次演習Ⅰと3年次演習ⅡAの主教科書は

D. Besanko, D. Dranove, M. Shanley, S. Schaefer (2017) *Economics of Strategy* 7th edition, John Wiley & Sons (英文教材はこちらで準備)

3年次演習ⅡBでは、(経営学からみた)経営戦略論の本も主教科書とする(未定)。

2022年度の例

網倉・新宅(2011)『経営戦略入門』、日本経済新聞出版社

根来龍之(2019)『集中講義 デジタル戦略 テクノロジーバトルのフレームワーク』日経BP、2019年。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

(これまでの) とくになし。 今後はあるかも(未定)

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

とくに傾向はない。コンサル、IT 関連、商社、流通、不動産、旅行会社、ホテル・レジャー業関連、銀行、保険、証券、建設、メーカー、公務員、大学院進学など、多岐にわたる。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門分野は**応用ミクロ経済学**。とくに**産業組織論**(誤解をおそれずにいえば、この産業組織論を企業が上手に利用すると、ポジショニング学派的経営戦略論になる。それをみごとにやってのけたのが、マイケル・ポーターという学者。どんな人が調べてみてください！)と**医療経済学**。

(7) その他

応募にあたって留意してほしいこと を書きます。

☞ **シラバス** も、きちんと読んでください。シラバス上、このゼミの**到達目標(の前半)**は、以下のようになっています。

「企業の経営戦略(企業戦略・事業戦略)に必要な経済学の初歩的な概念を説明でき、それらを使って実際の企業の経営戦略や産業組織を分析できるようになる。それらを踏まえ、より実践的な業界分析や戦略立案ができるようになる。」

うまくビジネスを成功させるには、**ミクロ経済学**的なセンス(経済的な諸関係に対する深い洞察力:たとえば簡単などころでは、自社がつける価格と自社製品に対する需要の因果関係はどうなっているか、少し複雑などころでは、ライバル他社の出方をどう読むかなどの**ゲーム理論**的視点) がけっこう役立ちます。しかし、**ミクロ経済学**の学習には、**抽象的な思考力** が要求されます。必ず、**ミクロ経済学**がどのような学

問か、テキスト（私自身の著書を含め、たくさん、出ています）などを手に取ってしっかり調べ、自分に向いているかどうか、じっくりと考えてください。「思ったのと違うゼミだった」ということがないようにしましょう！
卒論を仕上げるまでがんばれる方の応募を望みます。

- ☛ 選考は、従来、「面接または試験」でしたが、今回は「課題レポート」によります。教員独自課題を大学の経済学部演習関係のホームページにアップする予定です。

中田 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
	○	○	○	

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	会計入門	簿記の基礎
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	経営入門	財務会計（入ゼミ後でも OK）

3 年（男）	8 人	3 年（女）	17 人	4 年（男）	15 人	4 年（女）	9 人
--------	-----	--------	------	--------	------	--------	-----

（1） テーマ：「財務会計」「国際会計」「企業分析」

会計をただ学ぶだけでなく、それらを用いて実際に企業を分析することで実践力を養います。全体としては会計・経営の知識を活用した企業分析に最も比重を置きつつ、会計理論や周辺領域の勉強もしつつ、外部コンテストなど会計以外のテーマにも取り組みます。

（2） キーワード：

雰囲気は楽しく、学びは妥協せず

（3） ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

①授業期間：

2 年後期～3 年前期までに、教科書（2,000 円程度）3 冊を用いて、財務会計・財務諸表分析、経営戦略、国際会計の基礎知識を身につけます。そのうえで、興味をもったテーマについてより深く学んでいきます。

進め方は、担当グループが資料を準備し、全体発表を行い、発表に対するグループワーク・フィードバックを行う、という形式です。**卒論以外のほぼすべての活動は、グループ単位で取り組みます。**また、合同ゼミやコンテストなど、大きなプロジェクトの直前には、ゼミの時間外に適宜、グループごとの個別指導も行います。

(参考：現 3 年生のスケジュール)

2 年後期：企業分析①(財務諸表分析)、テキスト輪読①(財務会計)、テキスト輪読②/企業分析②(経営戦略)、外部コンテスト(ちばぎん・はまぎん学生ビジコン)、学内合同ゼミ
3 年：企業分析③(経営分析+企業価値評価)、テキスト輪読③(国際会計)、外部コンテスト(神奈川産学チャレンジプログラム)、4 大学インターゼミ、学内ゼミ成果発表会、学外合同ゼミ、『の～びのび経済』論文投稿
4 年：卒業論文執筆

②サマセ・スプセ：【※合宿に加えて、1・2 回程度、学内でのゼミも行う】

合宿は、主に企業を仮想経営する「ビジネスゲーム」を行います。関東近郊で行い、交通費込みで 1 回あたり 3 万円程度です。

③ゼミ外での学習活動：

外部コンテスト、学内外のゼミとの合同ゼミに参加します（①のスケジュールを参照）。

（4）卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3 年後期に行う他大学との合同ゼミの報告と学内ゼミ成果発表会での報告について、論文調に整え、グループ論文形式で執筆してもらいます。

（5）先輩たちの主な就職先と傾向

中田ゼミは創立 11 年目で、卒業生は 9 期生まで出ています。就職先は、金融業（証券、地銀、信金など）と IT 関連業（会計・金融のシステム）がやや多いですが、その他は、業種・職種はさまざまで特段の傾向はありません。

（6）教員について(自己紹介等)

研究は、財務会計理論・国際会計に関するテーマが主です。性格はマイペースで、座右の銘は「蓼（たで）食う虫も好き好き」。何事も拒まずに、まずは受け入れる姿勢が肝心と思っています。趣味は、音楽鑑賞（特にメタル）、PC 自作など。聞きたいこと・相談ごとがあれば、気軽にメールで連絡ください。

（7）その他

①複数学年・連コマでのゼミ

先輩・後輩間の交流を深め、また学習内容を深める目的で、複数学年合同・連コマでゼミを行っています。2022 年度後期は、2 年生は金 5・6 限に参加してもらう予定です。（※必修の英語が当該時間に入っている場合などは、個別に配慮。）毎週 2～3 コマ連続でのゼミ参加が前提となりますので、注意してください。

②課外活動（飲み会・食事会）

懇親会も随時開催しています（全体で半期に 1 回ほど、有志で毎月）。毎年、卒コンや OB 会も開いています。（ここ数年はコロナ禍で開催が減っていましたが、そろそろ平常運転に戻りそうです。）

③ゼミ選択について

ゼミは、サークルやアルバイト以上に大学生活の軸となり、卒業後も関係の続く活動です。ゼミを選ぶ際には、自らの将来を考えるとともに、各種情報源をフル活用して必要な情報をつかんでおきましょう。

学生目線の情報は、学生委員会作成のゼミ紹介冊子やゼミ紹介動画を参照してください。また、ゼミの雰囲気を知るために、個別ブース相談会と公開ゼミへの参加も推奨します。

根岸 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	財政の基礎
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3 年男	13人	3 年女	6人	4 年男	8人	4 年女	9人
------	-----	------	----	------	----	------	----

(1) テーマ

根岸ゼミでは、「現代の経済・社会問題」を学び、その解決策を考えます。

ゼミのテーマが「現代の経済・社会問題」と大きなものになっていますが、これは私の学問分野と関係しています。私の専門は財政学という分野で、これは政府の活動や制度・政策を研究する学問です。政府の活動は多岐にわたり、また中央と地方とですみずみに広がり、話題になる経済問題のほとんどに政府が何らかの形で関係しています。政府の政策手段を解説した *The Tools of Government* では、歳入面での租税、歳出面での補助金や貸付のみならず、規制、委託契約、バウチャー、協働などなど、数多くのものが出ています。こうした政策手段を使って、今おこっている経済・社会問題にいかに対応するのか、これらすべてが根岸ゼミでの勉強の対象になります。

各自が興味・関心に合わせてテーマを設定し、勉強してください。

テーマの設定は自由でも、2 年次、3 年次、4 年次で行うゼミの課題は決まっています。以下の（3）に書いてあります。よく読んでください。

(2) キーワード

根岸ゼミの特徴は、ゼミでの学び方も大事にしています。キーワードは、3 つあります。

第 1 は、**グループワーク**です。グループを基本単位として活動します。外部コンテストに参加してグループ論文やプレゼン資料を作成する時だけでなく、卒業論文を書く時も、卒業論文の執筆は個人ですが、スケジュール管理はグループ単位で行います。

第 2 は、**メンター＆メンティー制**です。根岸ゼミゼミでは、「タテとヨコ」のつながりを大事にしています。ヨコのつながりをグループワークが意味するなら、タテのつながりはメンター＆メンティー制が意味します。これは、先輩がコーチとなって、後輩を設定した目標に向かって導きます。

第 3 は、**成長のサイクル**です。成長するためには、①自ら物事に取り組み、②自分自身が上手くできたと感じ、③他人から評価され（褒められ）て上手くできたことを実感し、④いっそう力を入れて取り組む、を実感する必要があります。この成長のサイクルを、グループワーク、メンター＆メンティー制を通して実感してください。

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年次、3年次は、主として、①外部コンテスト、②学習プロジェクト、③学外その他ゼミとの交流、④自分プロジェクトを行います。

①外部コンテストとしては、外部の団体が実施するオープン参加のコンテストに参加します。そのために、グループ論文やプレゼン資料を作ります。外部コンテストで評価を受けて、学習の成果を実感します。

②学習プロジェクトは、ゼミ生が自ら選び本を読み、自分の学習を進めるものです。ゼミ生は読んだ本で一番面白かった部分について、先生になったつもりで、他のゼミ生に教え、自らの学習が進んだことを実感します。

③学外その他ゼミとの交流としては、他のゼミと発表会（プレゼン大会、卒論発表会など）を行います。他大の学生と交流して、視野を広げます。

④自分プロジェクトは、半期に一度、自ら学習テーマを決め、①外部コンテスト、②学習プロジェクトを自分のテーマに引きつけて、どの程度学習が進んだのか振り返ります。

これらについて、どのように学習すればいいのか、ゼミでの学び方は、メンター＆メンティー制により先輩に相談できますし、時には教えてもらえます。また、いつまでに何をすればいいのか、ゼミでの学習管理については、グループでの役割分担でしっかりと管理できます。

4年次は、卒論を作成します。卒業論文も、グループでのスケジュール管理を基本としますので、自分だけ遅れることなく、グループのメンバーと同じ歩調で卒論を書き、完成させます。

ゼミ合宿は、ゼミ生同士の交流もかねて、夏休みと春休みに行います。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

1つ上の**(3)**で書いてあります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

特別な傾向はありません。ほとんどが、第1希望から第3希望くらいまでの企業に就職しています。また、就職した後で、メンター＆メンティー制の教える・教わるという経験がすごく役立っているという意見をもらっています。

(6) 教員について(自己紹介等)

研究テーマは福祉国家財政の研究です。より詳しくは、第1に、アメリカの貧困対策・所得保障政策、政府間関係を研究しています。第2に、日本の社会保険や社会保障の財政問題も研究しています。

(7) その他

①根岸ゼミに向いている学生

ゼミ生同士で相互学習することが好きな学生が向いています。とくに、コンテストに参加する3年次は、授業以外で週に2回程度はグループで集まり勉強します。「グループワーク＝怠けられる」と思っていると、大変な目にあいます。

②課外活動（卒業論文発表会、懇親会、OB・OG会など）

ゼミ合宿以外にも、ゼミ活動の一環として、授業外で行うイベントが年に数回あります。こうした課外活動もゼミ活動なので、ゼミ生には参加してもらいます。

③ 質問は大歓迎です。公開ゼミの時か、メールで連絡ください。



野村ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	情報化社会と市民(共通教育シテ ィズンシップ科目)
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3 年男	7 人	3 年女	7 人	4 年男	10 人	4 年女	4 人
------	-----	------	-----	------	------	------	-----

1. テーマ

メディアの文化圏

(2) キーワード

コンテンツ、トランスメディア、コミュニケーションデザイン

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

野村ゼミでは毎期ごとに新しいテーマを設定しています。これまでは「フェムテック」「メディア・アクセシビリティ」「感情経済」「トランスメディア」「ナッジ」「情報デザイン」「情報経済」「知の理論」「論文の卵の産み方」などについてメディア制作を通じてチーム単位で研鑽してきました。毎年、なんらかの成果物を制作しています。今回は、メディアコンテンツが作り出す文化圏について考えます。演習 1 では手始めにテーマ地図を作成します。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

テーマ地図は印刷製本するところまでやりますので、そのために必要な原稿を分担して執筆します。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

意外に経済学部標準です。2 年生にもわかる企業名を挙げると。金融系：みずほ銀行、三井住友信託銀行、東京三菱 UFJ 銀行、大和証券、日興証券、千葉銀行、沖縄銀行、ゆうちょ。交通系：JR 東日本、全日空（地上）、近畿日本ツーリスト。製造業：IHI（石川島播磨重工業）。公務員：航空自衛隊（管制官）、地方自治体。郵政。不動産：東急リバブル。IT 系：電通国際情報サービス、ソフトバンク本部、IIJ、LINE@、NEC 系、キャノン系。メディア系：九州電通、モリサワ、共同印刷、新潟放送、福島民報新聞、北國新聞、デイリースポーツ、チケットぴあ、メトロアドエイジェンシー、東北新社、制作プロダクション。教職：神奈川県立高校情報科教員（大学院経由）、東京都公立中学校美術科教員（美大編入して大学院経由）

(6) 教員について(自己紹介等)

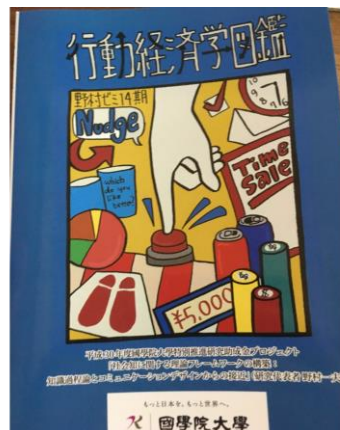
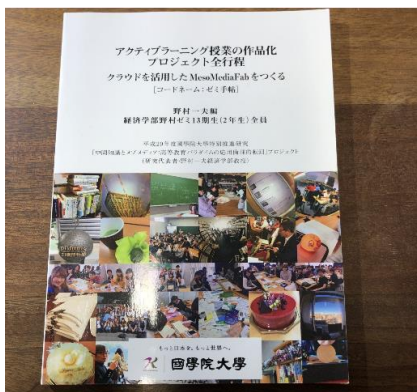
実務経験について。私はもともと社会学者でメディア論と社会理論を研究してきましたが、1995年8月から「ソキウス」という社会学専門サイトを立ち上げ、本にして千ページ程度の発信を開始。1997年にはクレジット決済による一括ダウンロードも実施。『インターネット市民スタイル』という案内書も1997年に出版。1999年から法政大学大原社会問題研究所の公式サイトを担当。10年間、デジタルアーカイブなどのサイト構築に従事。2000年から1年半、日本初のオンライン書店「ビーケーワン」の人文部門の社外編集者。本学では2001年以降、インターネットに関する共同研究を続けてきました。特定の技術にはこだわらず、使えるものは貪欲に吸収する主義です。

主な著書について。単著『ゼミ入門』『子犬に語る社会学』『インフォアーツ論』『未熟者の天下』『インターネット市民スタイル』『社会学の作法・初級編』『リフレクション』『社会学感覚』共著『健康論の誘惑』『文化現象としての癒し』など。

その他、研究活動については、個人サイト「ソキウス」を見て下さい。<https://www.socius.schule>

(7) その他

ネット系なのでスピードと量とリ spons が大事。令和2年度のゼミの成果は<https://transmedia.tokyo.jp>に集約してあります。令和3年度は冊子3冊。これはゼミブースで閲覧できます。野村ゼミ総会として一昨年度のまとめを8時間ラジオマラソンとしてYouTubeライブでおこないました。録画はここにあります。<https://youtu.be/1VPysG9wpCM>



サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
○	○	○		

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
経営入門	基礎演習 A	経営戦略
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	経営組織

3 年男	11 人	3 年女	4 人	4 年男	9 人	4 年女	6 人
------	------	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

経営学の基礎（社会学，心理学，経済学等）となる学問を学ぶ，戦略論・組織論・マーケティング・イノベーションの応用

(2) キーワード

戦略論，組織論，イノベーション，マーケティング，グループワーク（本当はグループワークはしたくないのだけど，人数の都合上仕方なくやっています）

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

企業経営に関連した社会現象を自分なりに分析し，説明できるようになるために，多様なフレームワークの学修と具体的な事例分析を両輪としたゼミナールを開催する。

経営学を学修する目的の一つは，現実の社会（とりわけ経営に関する社会現象）の動きに対して自分なりの読みを生成できる実務家になることである。そのためには，理論を学び，実際にそれを使って分析し，フィードバックを受けるという理論と現実の往復運動が必要である。本ゼミナールでは経営学的な力量を身に着けるために，この一連のプロセスを行う機会を提供する。

2 年次は，輪読と事例分析が両輪となる。輪読では主に社会学・心理学・経済学等の文献を読む。経営戦略論等の文献を読んだりレクチャーしたりはしない。それらは全て講義で学修することを基本としている。多分今年は社会心理学の文献を読む。

2 年次後半から 3 年次はもう少し難しい書籍や論文を輪読し，論文の書き方や調査のまとめ方を含めた学修を進め，並行して事例分析を行う。3 年前期～夏季休暇には外部のビジネスコンテストへの参加，3 年後期には投稿論文やゼミ成果発表会への参加など，成果を対外的に公表する機会が増える。これらを通じて 4 年次に卒業論文の執筆を行うための分析力・思考力を磨く。

正課授業以外の予定としては，夏に 3 泊の合宿（2・3 年次のみ），懇親会（不定期）を予定している。また，2 年次の春休みにも 2 週に 1 回のペースでゼミを行う。1 月頃には OBOG 会を実施する予定である。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

演習Ⅰ：事例分析レポート（3年次の5～6月頃まで；A4で20枚-30枚程度）。

演習Ⅱ：ビジコン（3年次の9～10月；A4で10枚程度，発表用プレゼン資料），の～びのび経済（3年次の12月；A4で20-30枚程度），ゼミ成果発表会（3年次の12月；PPTで20枚程度）。

（5）先輩たちの主な就職先と傾向

不動産，生命保険，専門商社，製薬，公務員，家業の承継，小売り，コンサル，飲料メーカー，金融，SE等，これといった傾向はありません。

（6）教員について(自己紹介等)

研究テーマは，以下の2つ。

①映画流通という巨大なシステムを対象として，大規模な技術システムが変化するときどのような経営上の問題が生じ，それが解決されていくのかということの歴史的研究

②ゲーマーコミュニティを対象としたコミュニティの生成・発展や，技術継承，組織アイデンティティ，ブランド認識等についての研究

オタクで根暗で人間嫌いなので，社会とのかかわりを出来る限りなくそうと努力していますが，学生の皆さんと話すのは少し好きです。趣味はデジタル・アナログゲーム全般と映画，カメラ，料理，漫画，野球など。

（7）その他

①コマについて

複数学年合同で開催する。公開されている開講時間の前後1コマには授業を入れないようにすること。原則として2コマ連続で参加することが前提となる。

②単位取得について

卒業までに「経営戦略」「イノベーションマネジメント（経営学科の学生のみ）」の履修を完了すること。そうでない場合，ゼミの単位は認定されない。

③ゼミのスタンス

ゼミナールは，大学生活で最も優先しなければならない活動である。アルバイトやサークル活動，旅行，就職活動，帰省，デートなど学生にはやらなければならないことが多く存在しているが，ゼミナールはこれらに優先される。それは，ゼミが大学における学修の中心的な位置づけであると同時に，ゼミで一緒に学ぶ仲間や教員との交流は一生続いていくものだからである。

藤山ゼミでは，それなりに難しい書籍をかなりの準備時間をかけて読んできてもらい，高い水準のレジュメの提出を要求し，それに対して教員も厳しく指導する。レポート課題もそれなりの分量を課される。しかしながら，学生諸君が努力した分だけ成長できるよう教員も全力で指導するので，厳しいゼミでしっかり学びたいという意欲のある学生は是非受講してほしい。そういう人へのサポートは惜しまない。知的に楽しいゼミにしたい。

④求める人材像

謙虚に学べる人，知的好奇心がある人，勤勉な人。協調性や外向性はあるにこしたことはありませんが，別になくてもいいです。

細井 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3 年男	1 人	3 年女	2 人	4 年男	2 人	4 年女	1 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

「グローバル・エコノミーとビジネス—新興国市場攻略の戦略」

国際経済と国際経営の分野で各自が関心をもっているテーマを個人で深めていくことがこのゼミのスタイルです。現 3・4 年生はヨーロッパ経済、アフリカ貧困問題、サービス産業海外展開、移民、自動車産業といった関心領域を各自もっています。

(2) キーワード

国際経済 途上国経済 国際経営

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2 年後期は統一テキスト(英語文献)を用いて、3 年以降に備え基礎知識の定着、読書習慣の確立、文献の探し方などアカデミック・スキルの涵養を図ります

2 年と 3 年の間の春休み(3 月下旬)に春合宿を行い、3 年以降のゼミ活動の基礎を作ります(スプセの形ではない)。3 年以降のゼミについては学年合同 2 時間連続となり、自分たちで進め方を決めて

もらい、個人のテーマも自分で設定することになります。ゆえに「与えられた」課題をきちんとこなすこと「だけ」が得意な人は向いていません。参考までに今年前期の場合は、1 時間を卒論に向け各自が関心をもっている分野についての専門書を読んだ上で報告・討論を行い(3 年前期はリーディング・アサイメントに従って進める)、もう 1 時間でビジネス・ケース討論を行っています。

夏休みにはゼミ合宿を行います。後期は両学年共に卒論に向けた報告が中心になります。そして、4 年の終わりには卒論を書き上げます。

なお、夏合宿は国外で実施します(3 年と 4 年の 2 回、違う国)。現地では関係機関、企業、援助団体など訪問・視察を行います。机上の勉強だけではなく、実際に経済・経営の現場を自分の肌で実感する貴重な機会です。今夏は 9 月にベトナムのホーチミンに行きます。現地での企業訪問は貴重な経験になります。手配等はすべて自分たちでやってもらいます。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

3 年終了時に 10,000 字程度の 3 年次論文を提出してもらいます。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

就職率 100%を初代から継続中です。業界は様々。珍しい就職先としては、政令市中学校の社会科教員(経済学部では十年に 1 人レベルの現役合格)や、一般企業就職後に公認会計士の資格を取得して 4 大監査法人に転職した OB がいます。不況時にも安定・確実に就職を決めています。日々のゼミに対する姿勢が結果につながります。「勉強の仕方を学ぶ」ことを常に念頭に置いていて、これは就職後に役立ちます(残念ながらゼミで勉強した内容は仕事にはほとんど役立ちません)。

また、毎年秋に OB 会があり色々な話を聞くことができるとともに(OB 会だけでなく随時、顔を出してくれたりします)、タテのつながりも強めています。卒業後も OB 会があり、現役ゼミ生のサポー

ト、また学年を超えて交流があり、「大人のゼミ合宿」をしたりしている代もあります。こういうことが嫌いならば、他のゼミに行くべきです。

(6) 教員について(自己紹介等)

2006 年に着任、担当する授業科目としては「世界経済入門」、「国際経済」、「国際経営」などです。

(7) その他

・日本でも星野リゾートのように喫煙者の採用をしない企業が増えてきています。こうした状況に鑑み、選考の際、喫煙者のプライオリティは最下位にします（なお、2010 年にこの方針を打ち出して以降、これまで喫煙者でこのゼミに合格した人はいないことを申し添えます）。

・卒業までに「国際経済」、「国際経営」の単位は必ず取ってもらいます。両科目を取れない場合、ゼミをクビになります。また、卒業までの 2 年半を継続して取り組めることも条件とします。OB 会でゼミ OB が「ゼミ程度のことをきちんとやれない(継続できない)ような人が社会（会社）に出てきちんとやっていけない」とよく言っています。着任して 10 年以上たち、ようやく途中で辞める人が出なくなってきました。また、他ゼミで行うようなゼミ合宿ではない形の合宿が 3 年と 4 年夏の 2 回あります。その点も承知してください。

・個人テーマの設定は自由ですが、それに取り組むにあたっての基礎は重視しています。筋トレをしっかりとやります。つまらないかもしれませんが、スポーツ選手で筋トレを疎かにする人はいないですよ。基礎演習のようにグループワークで上辺だけの「勉強ごっこ」をして「勉強した気分になる」スタイルではないので、そういうやり方を好む場合は他のゼミに行ってください。しかし、しっかり

取り組むと自分自身が何倍も成長して卒業できることは間違いなく、それが不況時でも安定した就活の結果につながります。そして就職後も勉強の仕方を知っていることはものすごく役立ちます。

・提出書類について:1 次選考(第 1 希望)の人は K スマ・アンケート機能の「1 自己紹介、2 志望理由」を書く必要がありません。空白はエラーになるようなので、「あ」とだけ入力してください)。K スマでの登録締切前(5/22)までにメールにてエントリーシート(エクセル形式、A4 で 1 ページ程)を請求し、それを記入して、成績表と合わせて 5 月 22 月までにメールで送ってください (詳細はエントリーシートに記載しています) 。2 次選考以降の人は K スマ・アンケート機能 1 と 2 両方記載のうえ、メールで事前にエントリーシートを請求し、記入した上で成績表と TOEIC 等のスコア表(2 月に全員受験した TOEIC を除く)、1 次応募のゼミに提出した課題の合わせて 4 つのファイルを K スマ登録締切時間までにメールで送ってください。このゼミでは英語文献を用いるため、他のゼミに未練がなく意欲が確実なこのゼミを第 1 志望とする人以外には能力の確認の意味でこのやり方を取らせてもらいます。TOEIC や TOEFL、IELTS 等のスコアをもっていない場合は、何か客観的な指標を出してください。なお、エントリーシートの請求は時間に余裕をもって行ってください。

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
—	—	—	—	—

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	経済理論入門
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	経済経営数学入門

3 年男	7 人	3 年女	3 人	4 年男	3 人	4 年女	0 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

R3 年度に国内派遣研究に出ていたため、4 年生は少数です。以前は 1 学年男女半々で 12～13 名程度でした。

(1) テーマ

当ゼミではマクロ経済学を中心に幅広く学んでいきますが、なかでも長期にわたる経済問題を対象とした経済成長の理論分析と実証分析に焦点をあてます。加えて、わが国の長期的経済動向に重大な影響を及ぼしてくる社会保障問題についても、計量経済学的なアプローチをまじえながら多角的に取り扱います。マクロ経済学やミクロ経済学を深く学びたい人、統計・計量分析ソフトを用いた実証分析に興味のある人、上級の公務員試験の合格を目指す人、研究者やエコノミストの養成を目的とした高度研究型の大学院への進学を目指す人などに特に向いているゼミです。

(2) キーワード

マクロ経済学、動学マクロ経済学、日本経済論、応用計量経済学、社会保障論、COVID-19

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

【2 年次】

- 日本経済論、社会保障論、経済統計分析の基礎的なテキストの輪読・精読を通じて、学問内容の理解とあわせて効果的なプレゼンテーションの技法を身に付けます。また、レジュメの作成状況についてもチェックし、質の高い学びを目指します。なお、過年度は、学生にテキストを選択してもらい、日本経済論について幅広く学びました。

【3 年次】

- マクロ経済学の定評ある英文テキストブックについて、1 年をかけて丹念に輪読していきます。この 1 年間の学びがこのゼミの学びの中核部分になります。

【4 年次】

- 卒業研究に集中的に取り組んでももらいます。経済理論、統計的手法を用いたものならば、テーマは基本的に自由です。

(4) 演習Ⅳ以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

チーム分けをして、具体的なテーマについて調査・研究し、プレゼンを行ってもらう可能性があります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

平成 29 年度着任のため、平成 31 年 3 月にはじめて卒業生を送り出しました。國學院での卒業生はまだ 4 期です（多くの人が民間企業に進んでいます）。

前任校（東北学院大学）では、公務員（国家公務員，地方公務員等），民間企業（メーカー，金融機関，商社等），高校教員，国立の研究型大学院進学とさまざま。比較的公務員が多いのが特徴でしたが，そのための対策等をゼミで行ったことはありません。闘魂注入のみ。

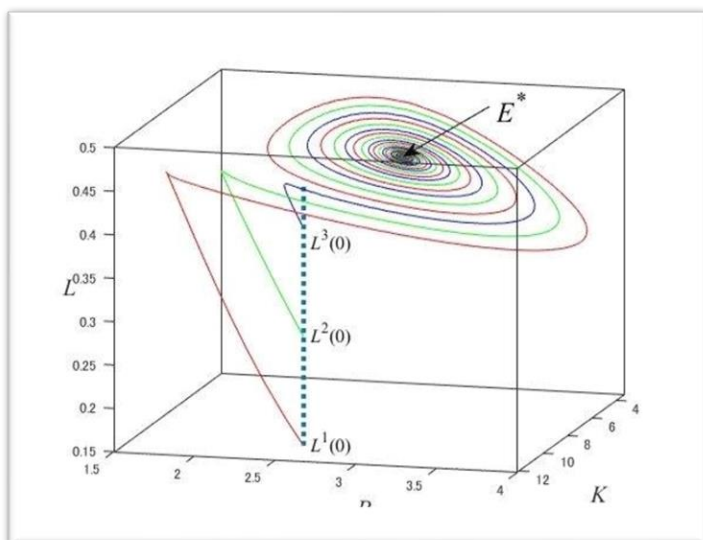
(6) 教員について(自己紹介等)

岩手県出身。博士（経済学，一橋大学，平成 15 年 3 月）。岩手→仙台→東京（国立）→仙台とわたり歩き，平成 29 年春から國學院に赴任しました。主専攻は動学マクロ経済学，副専攻は公共経済学です。理論だけでなく計量分析も行います。最近は COVID-19 に関する研究に特に注力しています。執筆した論文や書籍を知りたい方は，インターネットで氏名を検索するとすぐにいろいろ見つかります（元プロ野球選手の方に迷い込まないように（笑））。

好きなこと（もの）は，自動車の物色や運転，オフロード RC カー作り・操作，昔の TV ドラマ，じゃじゃ麺店・ラーメン店・蕎麦店・居酒屋めぐり，小旅行，古書蒐集，ビール等。スポーツは何でも好きですが最近は全くです。減量目的でよく歩いていますし（並木橋～代官山～恵比寿～渋谷橋～大学のコースが定番），筋トレもやっていますが効果は明瞭ではありません。

(7) その他

- 良識ある善良な市民を育成したいです。
- 胆力の備わった人間を育成したいです。
- 少し難しいかなというくらいの高い目標を掲げて努力を惜しまない人を応援します。
- 学年横断的で一体感をもったゼミを目指しています。



左の図は，最近私が関心を持って研究を進めている環境マクロ経済学において，著名な先行研究である Antoci et al. (2022, *European Economic Review*, Vol. 143, 104023) モデルの興味深い解軌道を数値解析によって再現したものです（ゼミの雰囲気を知る写真は学生作成の案内冊子をご覧ください）。

山本 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

修得済み科目		履修しておくことが望ましい科目
日本の経済	基礎演習 A	地域と都市の経済
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B	

3 年男	7 人	3 年女	2 人	4 年男	8 人	4 年女	0 人
------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

(1) テーマ

経済活動を「地域」という空間的枠組みの中で考える。

(2) キーワード

経済地理学, フィールドワーク, 地域

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

論文の輪読による基礎的な思考法や手法の習得と, 個人テーマに沿ったフィールドワークと報告書の作成を想定しています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

2 年次に論文踏査を始め, 3 年次には当該分野の研究動向についてレビュー報告（2000~4000 字程度）を作成する。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

鉄道, 建材, アパレル, 保険会社, 不動産関係など。対面接触のほか, 輸送関係や地方を好む傾向があります。テレビ番組制作, ゲーム制作などのクリエイティブ系に就職したものもいます。

(6) 教員について(自己紹介等)

山本健太 検 索

(7) その他

ゼミとは, 単に勉強するところではなく, 社会関係も学ぶ場であると考えています。このゼミに入るということは, 私に弟子入りすることだと思ってください。

バイト，部活，サークルはゼミ欠席理由として認められません。ゼミでの活動を最優先事項として，他のゼミ生と協調し，積極的に参加してください。

『令和 5 年（2023 年）度開講「演習 I」（ゼミ）募集要項』

國學院大學 経済学部教務委員会

WEBでもCHECK!

國學院大學経済学部

検索

